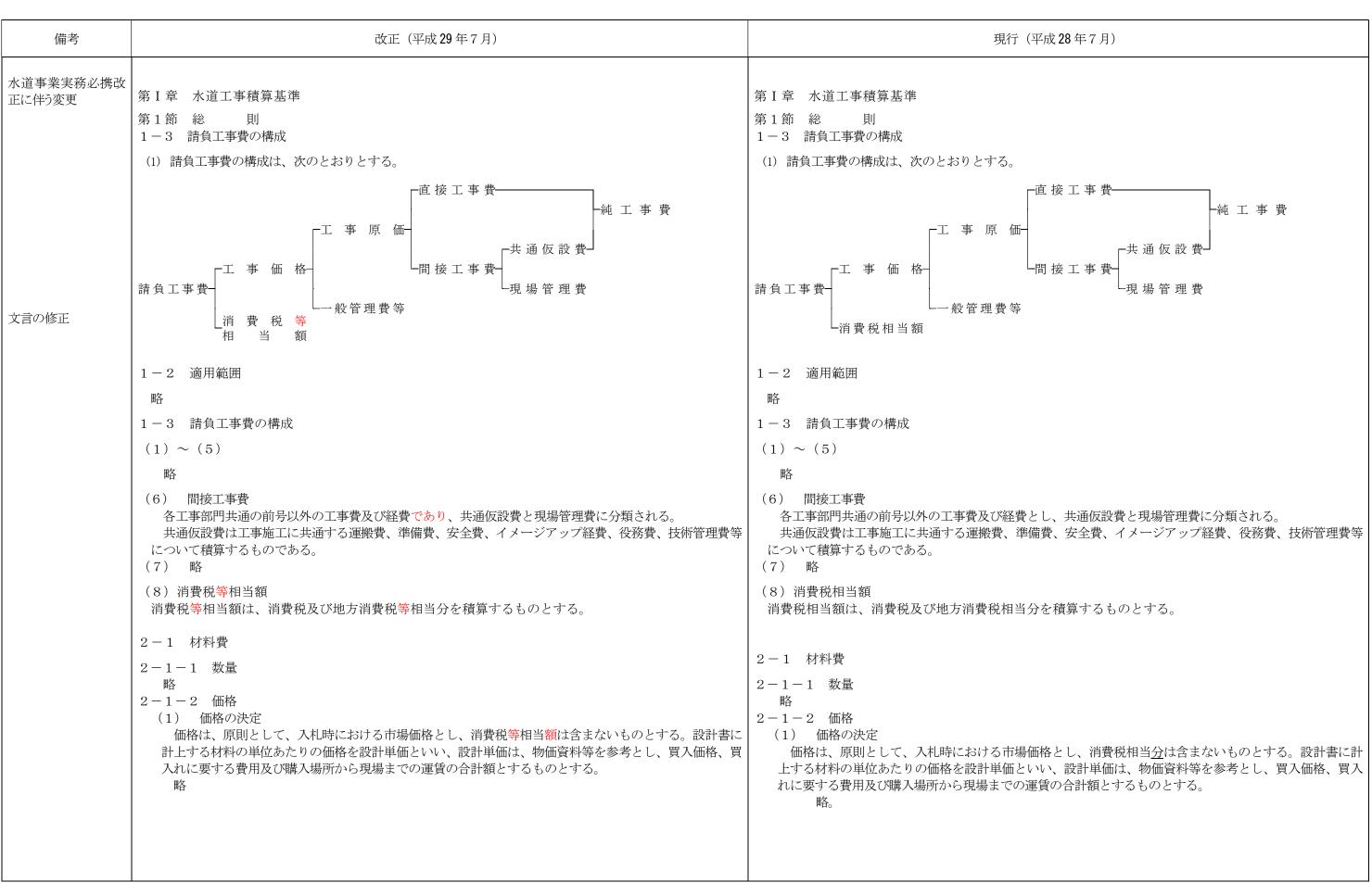
	T	平成29年7月改正
備考	改正 (平成 29 年 7 月)	現行(平成28年7月)
改正日の修正	私 取扱注意 No.	取 扱 注 意 No.
	水道工事積算基準及び標準歩掛表	水道工事積算基準及び標準歩掛表
	平成29年7月1日改正	平成28年7月1日改正
	神奈川県企業庁	神奈川県企業庁



第2節 直接工事費の積算 2-3 直接経費 2-3-1 特許使用料 略 2-3-2 水道光熱電力料 工事を施工するに必要な電力、電灯使用料、用水使用料及び投棄料等とするものとする。 2-3-3 機械経費 工事を施工するに必要な機械の使用に要する経費(材料費、労務費を除く)で、その算出は請負工事機械経費積算要領に基づいて積算する。 なお、建設機械損料算定表等に記載がないものは見積りを徴する。損料額の決定方法は材料単価の決定方法による。 第3節 間接工事費等の積算 3-2-1 共通仮設費 共通仮設費の算定は、表3-2-1-3の工種区分にしたがって所定の率計算による額と積上げ計算による額とを加
2-3-1 特許使用料 略 2-3-2 水道光熱電力料 工事を施工するに必要な電力、電灯使用料、用水使用料及び投棄料等とするものとする。 2-3-3 機械経費 工事を施工するに必要な機械の使用に要する経費(材料費、労務費を除く)で、その算出は請負工事機械経費程算要領に基づいて積算する。 なお、建設機械損料算定表等に記載がないものは見積りを徴する。損料額の決定方法は材料単価の決定方法による。 第3節 間接工事費等の積算 3-2-1 共通仮設費
略 2-3-2 水道光熱電力料 工事を施工するに必要な電力、電灯使用料、用水使用料及び投棄料等とするものとする。 2-3-3 機械経費 工事を施工するに必要な機械の使用に要する経費(材料費、労務費を除く)で、その算出は請負工事機械経費積算要領に基づいて積算する。 なお、建設機械損料算定表等に記載がないものは見積りを徴する。損料額の決定方法は材料単価の決定方法による。 第3節 間接工事費等の積算 3-2-1 共通仮設費
工事を施工するに必要な電力、電灯使用料、用水使用料及び投棄料等とするものとする。 2-3-3 機械経費 工事を施工するに必要な機械の使用に要する経費(材料費、労務費を除く)で、その算出は請負工事機械経費積算要領に基づいて積算する。 なお、建設機械損料算定表等に記載がないものは見積りを徴する。損料額の決定方法は材料単価の決定方法による。 第3節 間接工事費等の積算 3-2-1 共通仮設費
工事を施工するに必要な機械の使用に要する経費(材料費、労務費を除く)で、その算出は請負工事機械経費程算要領に基づいて積算する。 なお、建設機械損料算定表等に記載がないものは見積りを徴する。損料額の決定方法は材料単価の決定方法による。 第3節 間接工事費等の積算 3-2-1 共通仮設費
3-2-1 共通仮設費
第しておこなうものとする。
(1)率計算による部分 ア〜ウ 、表3-2-1-1 略
注1. 購入桁については、製作を購入と読み替える。 (2)積上げ計算による部分
略。 (3)条件明示 安全対策上、重要な仮設物等については設計図書に明示し、極力指定仮設とするものとする。 (4)適用除外
略 表3-2-1-2 間接工事費等の項目別対象表
衣3-2-1-2 間接工事賃等の項目別別家衣 略
注1~注5 略

備考			改正(平成 29 年	7月)			現行(平成 28 年	F7月)			
水道事業実務必携改 正に伴う変更 文言・説明文の修正		間接工事費等の		事の積算は、当該処分費等を直接工事費に計上し、	注6 処分費等の取扱い 処分費とは下記のものとし、「処分費等」を含む工事の積算は、当該処分費等を直接工事費に計上し 間接工事費等の積算は表のとおりとする。 ア〜 ウ 略						
		区分	処分費等が、「共通仮設費対象額(P)」 の3%以下でかつ処分費等が3千万 円以下の場合	処分費等が、「共通仮設費対象額(P)」 の3%を超える場合または処分費等が3 千万円を超える場合		区分		処分費等が、「共通仮設費対象額(P)」 に占める割合が3%を超える場合または 処分費等が3千万円を超える場合			
		共 通 仮 設費	処分費等は全額を率計算の対象とする。	処分費等は「共通仮設費対象額(P)」の 3%の金額を率計算の対象とし、3%を超 える金額は、率計算の対象としない。ただ し、対象とする金額は3千万円を上限とす		共 通仮設費	全額を率計算の対象とする。	処分費等が、「共通仮設費対象額(P)」 に占める割合の3%とし、3%を超える金 額は、率計算の対象としない。ただし、対 象となる金額は3千万円を上限とする。			
		現 場 管 理費	処分費等は 全額を率計算の対象とする。	る。 処分費等は「共通仮設費対象額(P)」の 3%の金額を率計算の対象とし、3%を超 える金額は、率計算の対象としない。ただ		現 場 管 理費	全額を率計算の対象とする。	処分費等 <u>が、</u> 「共通仮設費対象額(P)」 に占める割合の3%とし、3%を超える金 額は、率計算の対象としない。ただし、対 象となる金額は3千万円を上限とする。			
		一般	処分費等は全額を率計算の対象とす	し、対象とする金額は3千万円を上限とする。 処分費等は「共通仮設費対象額(P)」の 3%の金額を率計算の対象とし、3%を超		一 般 管理費等	全額を率計算の対象とする。	処分費等 <u>が、</u> 「共通仮設費対象額(P)」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。			
		管理費等	る。	える金額は、率計算の対象としない。ただ し、対象とする金額は3千万円を上限とす る。		注意1~2					
		注意1~2	略			2-1-3 $2-1-4$	工種区分 略				
	表3-	-2-1-3	工種区分 略			種 別	品品	目			
	表3-	- 2-1-4 種 別	管材費 品	н	送配水管材料(継手類、BNP含む)、不断水用割T字管、 サドル付分水栓、 <u>保護鋼管(さや管)</u> 、推進用鋳鉄管(鋼管) など						
管材費該当品目の変 更		送・配水管、 弁栓類	四 送配水管材料 (継手類、BNP含む) サドル付分水栓、弁栓類など			弁・栓類 送・配水管類	弁栓類 <u>、</u> ()				
	洎	消火栓、空さや管類、		全直接輸送する管類とその接合材料、仕切弁、 計属設備の費用をいう。なお、筐及び鉄蓋類、	注	<u>その他</u> 1)材料費に	水道施設に関わる資材 など 含まれる付属品は管材費に含むものとす	る。			

備考		改正(平成	(29年7月)			現行(平成 28 年 7 月)						
VIII 3	3-2-2 共通仮設費の率分	71— (177	, . , ,			3-2-2 共通仮設費の率分						
水道事業実務必携改	(1)共通仮設費の率分の積算					3-2-2 共通仮設質の挙分 (1)共通仮設費の率分の積算						
正に伴う変更	略					略						
説明文の修正	(2)共通仮設費率の補正 ア 施工地域、工事場所を考慮し	た共通仮設費率の	の補正及び計覧	章により補正を行うも	のとする	(2) 共通仮設費率の補正 ア 施工地域、工事場所を考慮した共通仮設費率の補正は表3-2-2の共通仮設費率に表3-2-2						
	(表3-2-2-2共通仮設費率、表3-2-2-1 間接工事費等の項目)	表3-2-2-1補		,		の補正値を加算するものとする。						
	施工地域·工事場所	区分	補正値	(%)		表3-2-2-1 間接工事費等の項目別対象表						
	市街	地	2.0)		施工地域・工事場所区分 補正値(%)						
	山間僻地及び離	島	1.0)		市 街 地 2.0						
	施工場所が一般交通等の地方部といる性を)影響を受ける場合	1.5	5		山間僻地及び離島 1.0						
	施工場所が一般交通等の	影響を受けない場	_			地方部						
	注1. 施工地域の区分は以下のとおりと		ルピノフィルニュ) = V#+ 12 14 = 2		施工場所が一般交通等の影響を受けない場 0.0						
文言の修正	市街地:施工地域が <i>J</i>				。 554,000人/km²以上でそ	注1. 施工地域の区分は以下のとおりとする。 市 街 地 :施工地域が人口集中地区(DID地区)及びこれに準ずる地区をいう。						
	·	5,000人以上となっ			DID地区とは、 <u>総理府</u> 統計局国勢調査による地域別人口密度が4,000人/km²以上で							
	山間僻地及び離島: 略				全体が5,000人以上となっている地域をいう。							
	地 方 部 : 略 注2. 施工場所の区分は以下のとおりと	ナス				山間僻地及び離島: 略 地 方 部 : 略						
	住2. 肥工場別の区分は以下のこわりと 略	9 o .				注2. 施工場所の区分は以下のとおりとする。						
	注3. 施工地域・工事場所区分が2つ以	上となる場合の取	汲い			略						
	工事場所において施工地域・	工事場所区分が2	つ以上となる場	合には、補正率のた	大きい方を適用する。	注3. 施工地域区分が2つ以上となる場合の取扱い						
	表3-2-2-2 共通仮設費率標準値				20 億円を	工事場所において地域区分が2つ以上となる場合には、補正率の大きい方を適用する。 表3-2-2-2 共通仮設費率標準値						
	対象額(P)	1,000 万円以下		・超え 20 億円以下 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	超えるもの	対象額(P) 1,000 万円以下 1,000 万円を超え 20 億円以下 超えるもの						
	適用区分	下記の率とする	ただし、変数値	直は下記による。	下記の率とする	A×P ^b により算定された率とする。た						
	工種区分	Larolatic A 2	A	ь	TIBLO PETCY S	適用区分 下記の率とする だし、変数値は下記による。 下記の率とする						
	開削工事及び小口径推進工事	13.32%	485.4	-0.2231	4.08%	T種区分						
	シールド工事及び推進工事	12.85%	422.4	-0.2167	4.08%	開削工事及び小口径推進工事 13.32% 485.4 -0.2231 4.08%						
	構造物工事(浄水場等)	7.64%	13.5	-0.0353	6.34%	シールド工事及び推進工事 12.85% 422.4 -0.2167 4.08%						
						構造物工事(浄水場等) 7.64% 13.5 -0.0353 6.34%						
	(1) 算定式					(1)算定式						
	略 3-2-3 運搬費					略						
	(1)運搬費の積算					3-2-3 運搬費						
	略				(1)運搬費の積算 							
	(2)積算方法	# .				略 (2)積算方法						
	ア 共通仮設費に計上される運搬 (ア)共通仮設費率に含まれる運	•				ア 共通仮設費に計上される運搬費						
		3/1人只				(ア) 土通仮設費率に今まれる運搬費						

5

b 建設機械の自走による運搬(トラッククレーン油圧伸縮ジブ型80t以上は、積み上げるものとする。)

c ~ e 略

(ア)共通仮設費率に含まれる運搬費

上げるものとする。)

c ~ e 略

b 建設機械の自走による運搬(トラッククレーン<u>ラチスジブ型25t吊及び</u>油圧伸縮ジブ型80t以上は、積み

備考	改正(平成 29 年 7 月)	現行(平成 28 年 7 月)				
水道事業実務必携改正に伴う変更説明文の追加、修正	(イ) 積上げ項目による運搬費	(イ)積上げ項目による運搬費 a 質量20t以上の建設機械の貨物自動車等による運搬 b 仮設材(鋼矢板、那形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 ただし、敷鉄板については敷鉄板設置撤去工で積上げた敷鉄板を対象とする。 c 重建設機械の分解、組立及び輸送に要する費用 ただし、トラックレーン(油圧伸縮ジブ型20~50t吊)・ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型20~70t吊)は除く。 d ~ e 略 (3)質量20t以上の建設機械の貨物自動車等による運搬 ア 略 イ 略 A:基本運賃料金 B:諸料金 a. 地区割増料 貨物の発地又は着地が、東京都(特別区に限る)又は、住民基本台帳に基づく人口が50万人以上の都市の場合には、各運輸局が公示した「一般貨物運送事業の貸し切り運賃」の地区割増料を加算する。 ただし、貨物の発地及び着地が同一都市内又は隣接都市間の場合は、発地又は着地のいずれか一方についてのみ加算する。 b. 車両割増料・・・・・・適用しない。 C1~C4:運賃割増率(表3~2~3~1) C1:特大品割増 C3:冬期割増 C3:冬期割増 C4:深夜早朝割増 D ~ M 略				
文言の修正 K、K'の削除 注7を削除し注8を繰 上げ	表3-2-3-1 運賃割増率	C1 ~ C3 略				

	改正(平成29年	三7月)												
表3-2-3-2 建設機械運搬	设方法						表3-2-3-2 建設機械運搬方法							
機械名	規 格	油庫	き 車 労務 車種	規格 (t	備考		機械名	規格	自 走 速度 (km/h) 労務		規格 (t	備考		
路 面 切 削 機 (ホイール式・廃材積込装置 付)	2. 0m		R	29.00			路 面 切 削 機 (ホイール式・廃材積込装置 付)	2. Om		R	29. 00			
(クローラ型) (<mark>普通</mark>)	21t		R	21. 90			(クローラ型)	21t		R	21. 90			
スタビライザ (路上改良用)	幅 2.0m 深 1.2m		R	23. 50			スタビライザ (路上改良用)	幅 2.0m 深 1.2m		R	23. 50			
自走式破砕機	クラッシャー寸法 開 450mm 幅 925mm		R	R 30.00			自走式破砕機	クラッシャー寸法 開 <u>925</u> mm 幅 <u>450</u> mm		R	30.00			
(硬質地盤専用)	鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用		R	29. 70			(硬質地盤専用圧入機)	鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用		R	29. 70			
(硬質地盤専用)	■ 鋼矢板V L • VI L • II w • III		R	37. 90			(硬質地盤専用圧入機)	鋼矢板Vι•VIι• II w• III w•IVw型用		R	37. 90			
イ 仮設材等(鋼矢板、H形鋼	、覆工板、敷鉄板等)の積込			3割は	曽					5費用	3割			
	機 械 名 路 面 切 削 機 (ホイール式・廃材積込装置 付) 除雪ドーザ (クローラ型)(普通) ス タ ビ ラ イ ザ (路上改良用) 自 走 式 破 砕 機 油圧式杭圧入引抜機 (硬質地盤専用) 油圧式杭圧入引抜機 (硬質地盤専用) 注1 ~ 注3 略 (4)仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆 ア 仮設材等(鋼矢板、H形鋼 表3-2-3-3 基本運賃表 略 F1~F2:運賃割増率 F1:冬期割増 運搬時間を「22~5時」に指定 イ 仮設材等(鋼矢板、H形鋼	表3-2-3-2 建設機械運搬方法 機 械 名 規 格 路 面 切 削 機 (ホイール式・廃材積込装置 2.0m (付) 除雪ドーザ (クローラ型)(普通) ス タ ビ ラ イ ザ (路上改良用)	機 械 名 規 格 速度 (km/h) 路 面 切 削 機 (ホイール式・廃材積込装置 (カローラ型)(普通) ス タ ビ ラ イ ザ (路上改良用) 幅 2.0m 深 1.2m (路上改良用) 相 450mm 幅 925mm 相 450mm 幅 925mm 相 450mm 幅 925mm 相 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	表3-2-3-2 建設機械運搬方法 機 械 名 規 格 遠度 (km/h) 路 面 切 削 機 (ホイール式・廃材積込装置 2.0m R 付) (かローラ型)(普通) ス タ ピ ラ イ ザ (路上改良用) 自 走 式 破 砕 機 開 450mm R 幅 925mm R 油圧式杭圧入引抜機 (硬質地盤専用) 油圧式杭圧入引抜機 (硬質地盤専用) 油圧式杭圧入引抜機 (硬質地盤専用) ホーズが、関 第450mm R を 925mm R	表3-2-3-2 建設機械運搬方法	接 様 様 名	接	表3-2-3-2 建設機械運搬方法	表3-2-3-2 建設機械運搬方法	養3-2-3-2 建設機械運搬方法	表3-2-3-2 建設機械運搬方法	接		

備考		改正 (平成 29 年 7 月)		現行(平成 28 年 7 月)
水道事業実務必携改正に伴う変更	(5)重建設機械分解・組立. ア 略 表3-2-3-4 適用建設機械		(5)重建設機械分解・組立. ア 略 表3-2-3-4 適用建設機械	
	機械区分	適用建設機械	機械区分	適用建設機械
	ブルドーザ	ブルドーザ(リッパ装置付を含む) 普通 21t 級以上~63t 級以下 湿地 20t 級以上~28t 級以下	ブルドーザ	週 / 1 年 版
	バックホウ系	バックホウ 山積 1.0m ³ 以上~2.1m ³ 以下 (平積 0.7m ³ 以上~1.5m ³ 以下) 油圧クラムシェル・テレスコピック 平積 0.4m ³ 以上~0.6m ³ 以下	バックホウ系	バックホウ 山積 1.0m ³ 以上~2.1m ³ 以下 (平積 0.7m ³ 以上~1.5m ³ 以下) 油圧クラムシェル・テレスコピック 平積 0.4m ³ 以上~0.6m ³ 以下
	クローラクレーン系	クローラクレーン 〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型〕 吊り能力 16t 以上~300t 以下 クラムシェル 〔油圧ロープ式・機械ロープ式〕 平積 0.6m³以上~3.0m³以下 バイブロハンマ 〔クローラクレーン・油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・50~55t 吊〕	クローラクレーン系	クローラクレーン 〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型〕 吊り能力 16t 以上~300t 以下 クラムシェル 〔油圧ロープ式・機械ロープ式〕 平積 0.6m³以上~3.0m³以下 バイブロハンマ 〔クローラクレーン・油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・50~55t 吊〕
規格の修正、及び適	トラッククレーン系	トラッククレーン 〔油圧伸縮ジプ型〕 オールテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型〕 吊り能力 80t 以上~550t 以下	トラッククレーン系	トラッククレーン 〔油圧伸縮ジプ型〕 オールテレーンクレーン 〔油圧伸縮ジブ型〕 吊り能力80t以上~500t以下
用建設機械の追加	クローラ式 杭 打 機	ディーゼルハンマ(防音カバー装置除く) 油圧ハンマ アースオーガ(二軸同軸式を含む) ディーゼルハンマ・アースオーガ併用 モンケン・アースオーガ併用 アースオーガ併用圧入杭打機 アースオーガ中掘式 機械質量 20t 以上~150t 以下	クローラ式 杭 打 機	ディーゼルハンマ(防音カバー装置除く) 油圧ハンマ アースオーガ(二軸同軸式を含む) ディーゼルハンマ・アースオーガ併用 モンケン・アースオーガ併用 アースオーガ併用圧入杭打機 アースオーガ中掘式 機械質量 20t 以上~150t 以下
	オールケーシング 掘 削 機	オールケーシング掘削機[クローラ式] 掘削径 2,000 mm以下 オールケーシング掘削機[据置式・全旋回型] 掘削径 2,000 mm以下	オールケーシング 掘 削 機	オールケーシング掘削機[クローラ式] 掘削径 2,000 mm以下 オールケーシング掘削機[据置式・全旋回型] 掘削径 2,000 mm以下
	地盤改良機械	中層混合処理機 機械質量 20t以上~120t以下 サンドパイル打機 粉体噴射撹拌機(付属機器除く) 深層混合処理機	地盤改良機械	サンドパイル打機 粉体噴射撹拌機(付属機器除く) 深層混合処理機 ペーパードレーン打機 機械質量 20t 以上~ <u>170</u> t 以下
		ペーパードレーン打機 機械質量 20t 以上~180t 以下 自由断面トンネル掘削機	トンネル用機械	自由断面トンネル掘削機 ドリルジャンボ 機械質量 20t 以上~60t 以下
	トンネル用機械	ドリルジャンボ 機械質量 20t 以上~60t 以下 地下連続壁施工機[回転水平多軸・クローラ式]	連続地中壁用機械	地下連続壁施工機[回転水平多軸・クローラ式] 壁厚 1,200~2,400 mm 壁厚 650~1,500 mm
	連続地中壁用機械	壁厚 1,200~2,400 mm 壁厚 650~1,500 mm		クローラ式アースオーガ[三軸式・直結 3 点支持式] オーガ出力 90kW
		クローラ式アースオーガ〔三軸式・直結 3 点支持式〕 オーガ出力 90kW		

備考			改正(平成 29	年7月)		現行(平成 28 年 7 月)							
水道事業実務必携改正に伴う変更		イ 施工歩掛 (ア)使用機械の規格選定 瞬 2-3-5 クレーンの規格選)				イ 施工歩掛 (ア)使用機械の規格選定 略 表3-2-3-5 クレーンの規格選定							
		機械区分	規 格	分解組立用クレーン機 械 名規 格		機械区分	規 格	分解組立用クレーン 規格					
	-	バ ッ ク ホ ウ 系 オールケーシング掘削機 (クローラ式) トン ネ ル 用 機 械	表3-2-3-4 参照	70次 70次 イコ ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)	25t 吊	ブ ル ド ー ザ バ ッ ク ホ ウ 系 オールケーシング掘削機 (クローラ式)	表3-2-3-4	ラフテレーンクレーン 油 圧 伸 縮 ジ ブ 型 (排 出 ガ ス 対 策 型)	25t 吊				
幾械区分の追加及び表 の修正			21t級以下	ラフテレーンクレーン	05.17	地盤改良機械		(排出ガス対東型)					
//11多止.		ブルドーザ	44t級以下	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型	25t吊	トンネル用機械	05. PNT						
			63t級以下	(第2次基準値)	50t吊		35t 吊以下 (クラムシェル	- ラフテレーンクレーン 油 圧 伸 縮 ジ ブ 型					
		地	質量 60t以下		 25t吊		平積 0. 6m ³ 含む)		0F4 FI				
		盤中層混合処理工	質量 120t以下				80t 吊以下		25t 吊				
		改サンドパイル打機	質量 60t以下	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型		クローラクレーン系	(クラムシェル						
		息 粉体噴射撹拌機	質量 120t以下	(第2次基準値)	50t吊		平積 2.0m ³ 以下含む) 150t吊以下	(排出ガス対策型)					
		機深層混合処理機械		_			(クラムシェル		504 E				
	-	ペーパードレーン機	質量 180t以下				平積 3.0m³以下含む)		50t 吊				
			35t 吊以下 (クラムシェル				300t 吊以下						
			平積 0. 6m ³ 含む)				表3-2-3-4	ラフテレーンクレーン	50. B				
			80t 吊以下		25t 吊	トラッククレーン系	参照	油 圧 伸 縮 ジ ブ 型 (排 出 ガス対 策 型)	50t 吊				
		クローラクレーン系	(クラムシェル	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)			質量 60t 以下	ラフテレーンクレーン 油 圧 伸 縮 ジ ブ 型	25t 吊				
			平積 2.0m ³ 以下含む)			クローラ式 杭 打 機	質量 100t 以下						
			150t吊以下 (クラムシェル				質量 150t 以下	(排 出 ガス対 策 型)					
			(クラムシェル 平積 3.0m ³ 以下含む)		50t 吊	オールケーシング掘削機	表3-2-3-4	排出ガス対策型					
			300t 吊以下			〔据置式•全旋回型〕	参照	油圧駆動式ウインチ・	60~65t 吊				
				ラフテレーンクレーン		連続地中壁用機械	表3-2-3-4	ラ チ ス ジ ブ 型 ラフテレーンクレーン					
		トラッククレーン系	表3-2-3-4 参照	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型	50t 吊	[地下連続壁施工機]	表3-2-3-4 参照	油圧伸縮ジブ型	45t 吊				
				(第2次基準値)		-		クローラクレーン					
			質量 60t 以下	ラフテレーンクレーン		連続地中壁用機械 [クローラ式アースオーガ]	表3-2-3-4 参照	油圧駆動式ウインチ・	50t 吊				
		クローラ式 杭 打 機	質量 100t 以下	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型	50t 吊			ラチスジブ型					
			質量 150t 以下	(第1次基準値)		注1. 現場条件等により、上表により難		ことかできる。					
		オールケーシング掘削機 〔据置式〕	表3-2-3-4 参照	クローラクレーン油圧駆動式ウインチ・ラチ スジブ型排出ガス対策型 (第1次基準値)	60~65t 吊	注3. 連続地中壁用機械クローラ式ア・	注2. ラフテレーンクレーン、トラッククレーンは賃料とする。 注3. 連続地中壁用機械クローラ式アースオーガの分解組立用クレーン「クローラクレーン」は賃料とし、機械運転神奈川県県土整備局土木工事標準積算基準書 第 II 編共通工第2章共通項⑨連続地中壁工(柱列式)」に						
		連続地中壁用機械 [地下連続壁施工機]	表3-2-3-4 参照	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型 (第1次基準値)	45t 吊								
	Ī	連続地中壁用機械	表3-2-3-4	クローラクレーン油圧駆動式ウインチ・ラチ	E0+ B								
		[クローラ式アースオーガ]	参照	スジブ型	50t 吊								
注釈の修正及び注3 の削除		. ラフテレーンクレーン、トラッククただし、オールケーシング掘削様 . 現場条件により、上表により難い	幾[据置型]の分解組立用	クローラクレーンは損料とする。									

備考		Ę	攻正(平成 29	年7月)							Ę	見行(平成 28	年7月)			
	(イ)歩掛 分解・組立表3-2-3-6 歩掛	立1台1回当り歩掛は、	次表とする。			表3	(イ)歩掛 分解・組立1台1回当り歩掛は、次表とする。 表3-2-3-6 歩掛									
半う変更	機械区分	規 格 区 分	機械質量区分	労務歩掛 特殊作業員 (人) 〔分解+組立〕	クレーン 運転歩掛 (日) 〔分解+組立〕	運搬費率 等 (%)	諸 雑 費 率 (%)		機械	区分	規 格 区 分	機械質量区分	労務歩掛 特殊作業員 (人) 〔分解+組立〕	クレーン 運転歩掛 (日) 〔分解+組立〕	運搬費 率 等 (%)	諸 雑 費 率 (%)
		21t 級以下	_	2.8	2. 1	134	21				21t 級以下	_	1.5	1.5	191	3
	ブルドーザ	44t 級以下	_	4.6	3. 4	132	21		ブル	ドーザ	44t 級以下	_	2. 5	2.5	184	3
		63t 級以下	_	8. 4	6. 2	90	14				63t 級以下	_	3.8	3.8	188	3
	バックホウ系	山積 1. 4m ³ 以下 油圧クラムシェル ・テレスコピック 0. 4m ³ 以上 0. 6m ³ 以下含む	_	2.7	1. 4	216	24		バック	ホウ系	山積 1. 4m ³ 以下 油圧クラムシェル ・テレスコピック 0. 4m ³ 以上 0. 6m ³ 以下含む	_	2.7	1.6	297	3
		山積 2. 1m³以下	_	4. 5	2. 3	221	25				山積 2. 1m³以下	_	3.8	2. 3	294	3
		35t 吊以下 クラムシェル 平積 0.6m ³ 含む	_	3. 0	0.8	384	22				35t 吊以下 クラムシェル 平積 0.6m ³ 含む	_	3. 3	1.1	348	5
	クローラクレーン系		_	5. 5	1.5	375	21		クローラクレーン系	80t 吊以下 クラムシェル 平積 2. 0m ³ 含む	_	5. 0	1.7	354	5	
		150t 吊以下 クラムシェル 平積 3.0m ³ 含む	_	11. 3	3. 1	287	16		150t 吊以下 クラムシェル 平積 3.0m ³ 含む	_	12. 5	4. 2	258	3		
		300t 吊以下		20. 5	5. 7	286	16				300t 吊以下		21. 9	7. 3	258	3
		120t 吊以下	<u>—</u>	4. 3	1. 5	439	97				120t 吊以下		2. 2	1.5	667	3
	トラッククレーン系	160t 吊以下	_	5. 7	1. 9	454	100		トラックク	レーン系	160t 吊以下	_	3. 5	2.4	673	3
		360t 吊以下	_	11. 7	4. 0	443	97				360t 吊以下	_	4.8	3. 2	673	3
		550t 吊以下	_	20. 9	7. 1	446	98				500t 吊以下	_	8. 3	5. 5	683	3
		_	60t 以下	8.6	2. 1	148	2				_	60t 以下	7. 6	2. 4	200	3
	クローラ式杭打ち機	_	100t 以下	15. 5	3. 7	149	2		クローラ式	抗打ち機	_	100t 以下	13. 1	4. 1	200	3
		_	150t 以下	23. 5	5. 6	148	2				_	150t 以下	19. 1	6. 0	200	3
	オールケーシング掘 削機 [クローラ式]	_	-	3. 9	3. 4	515	5		削機〔ク〕	ーシング掘 ローラ式〕 ーシング掘	_	_	3.9	3. 4	466	5
	オールケーシング掘 削機 〔据置式・全旋回型〕	_	_	4. 9	11.9(h)	483	4		削機〔据置型	式・全旋回	_	-	4. 9	11.9 (h)	448	4
			60t 以下	16. 0	2. 4	229	1				_	60t 以下	17.8	6. 9	104	3
	地中層混合処理機	_					4		地盤改	良機械	_	120t 以下	48.8	18.9	104	3
	盤サンドパイル打機	_	120t 以下	41. 2	6. 3	190	3				_	170t 以下	65. 1	25. 3	104	3
	改 松/木/南南 計学/ 松	_	60t 以下	16. 0	2. 4	191	3			レ用機械	_		9. 0	1.8	357	7
			120t 以下 180t以下	41. 2 64. 6	6. 3 9. 9	190 189	3		「地下連続	「壁用機械 「壁施行機」 「壁用機械	_	_	54. 4	9. 5	134	4
	ン打機 トン ネル 用 機 械	_	_	5. 4	2. 0	503	8		[クローラ式]	アースオーカ゛〕	_	_	27.7	6. 0	147	2
	連続地中壁用機械〔地下連続壁施行機〕		_	54. 4	9. 5	144	4	注1	. 上記歩掛	は、分解・組立	この合計であり、内訳は	は分解50%、組	立50%である。			
	[地下連続壁施行機]	_			9. 0	144	4	注2	. 本歩掛に	は標準的作業	に必要な装備品・専	用部品は含まれ	ている。			
	連続地中壁用機械〔クローラ式アースオーカ〕〕注1.上記歩掛は、分解・組立				6. 0	153	2	注3	含む)、賃料	料•損料費(自	エス、洗浄油、グリス 走による本体の賃料 貴・クレーン運転費の	・損料、賃料適用	目機械の運搬中4	本体賃料、賃料通		
駅の修正	注2. 本歩掛には標準的作業注3. 運搬費等には、下記① ①トラック及びトレーラに②自走による本体の賃料 ③運搬中本体賃料・損料 ④分解・組立時の本体賃 ⑤ウエス、洗浄油、グリス	〜⑤の費用が含まれ よる運搬費〔往復〕(Î 科・損料 科 香料	ており、労務費 誘導車、交通誘	・クレーン運転費	の合計額に上表	の率を乗じ	て計上する	注4	. 諸雑費は、 運転費の台	ウエス、洗浄	油、グリス、油圧作動 の率を乗じて計上する	油の費用であり	、分解・組立のみ	を計上する際に		

備考	改正 (平成 29 年 7 月)	現行(平成 28 年 7 月)
水道事業実務必携改 正に伴う変更 注釈の内容修正と追加 単価表から諸雑費削 説明文の修正	注4. 詳維要は、分解・組立のみを計上する際に適用し、下記①~②の費用が含まれており、労務費・クレーン運転費の合計額に上去の率を乗じた金額を上限として計上する。 ①分解・組立時の本体貨料 ②ウェス、洗浄油、グリス、油圧作動油等の費用 注5. その他 『深層混合処理機(二軸式90kw×2)は、地盤改良機械(機械質量180t以下)を適用する。 b粉体質射視非機(二軸式90kw×2)は、地盤改良機械(機械質量120t以下)を適用する。 (お体質射視非機(二軸式90kw×2)は、地盤改良機械(機械質量120t以下)を適用する。 (お体質射視非機(二軸式90kw×2)は、地盤改良機械(機械質量120t以下)を適用する。 (お体質射視非機(二軸式90kw×2)は、地盤改良機械(機械質量120t以下)を適用する。 (6)単価表 ①重種設機域分解組立輸送1回当り単価表 を	(6) 単価表 (1) ① 重雑設模被分解組立輸送 回当り単価表 (2) 不

備考	改正(平成 29 年 7 月)	現行(平成 28 年 7 月)					
水道事業実務必携改正に伴う変更	交通誘導警備員の積算(第Ⅱ章 第3節 仮設工へ移項)	交通誘導警備員の積算 現場条件に応じて、交通誘導警備員の配置人員、作業時間帯、期間を計上する。					
安全費から交通誘導 警備員項目の削除		表3-2-6-1 交通誘導警備員の計上区分 略					
	3-2-8 技術管理費 (1)技術管理費の積算 略 (2)積算方法 技術管理費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記(1)のア、イ、ウのうち下記項目とす る。 ア 品質管理基準に記載されている試験項目(必須・その他)に要する費用	3-2-8 技術管理費 (1)技術管理費の積算 略 (2)積算方法 技術管理費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記(1)のア、イ、ウのうち下記項目とす る。 ア 品質管理基準に記載されている項目に要する費用					
文言の修正	イ〜シ 略 上記以外で積上げする項目は、次の各項に要する費用とする。 ア 特殊な品質管理に要する費用 略 イ 現場条件等により積上げを要する費用 ・軟弱地盤等における計器の設置・撤去及び測定・とりまとめに要する費用	イ〜シ 略 上記以外で積上げする項目は、次の各項に要する費用とする。 ア 特殊な品質管理に要する費用 略 イ 現場条件等により積上げを要する費用 ・軟弱地盤等における計器の設置・撤去及び測定・とりまとめに要する費用					
内容の追加	 ・試験盛土等の工事に要する費用 ・水道工事において目視による出来形の確認が困難な場合に用いる特別な機器に要する費用 ・施工前に既設構造物の配筋状況の確認を目的とした特別な機器(鉄筋探査等)を用いた調査に要する費用 ウ 施工合理化調査、施工形態動向調査及び諸経費動向調査に要する費用 エ その他、前記ア、イ、ウに含まれない項目で、特に技術的判断に必要な資料の作成に要する費用 	・試験盛土等の工事に要する費用 ウ 施工合理化調査、施工形態動向調査及び諸経費動向調査に要する費用 エ その他、前記ア、イに含まれない項目で、特に技術的判断に必要な資料の作成に要する費用					
	3-2-8-1 水圧試験(ダクタイル鋳鉄管) DD121209071 略 表3-2-8-1 水圧試験(ダクタイル鋳鉄管) 略 3-2-8-2 X線検査 DD121209081	3-2-8-1 水圧試験(ダクタイル鋳鉄管) DD121209071 略 表3-2-8-1 水圧試験(ダクタイル鋳鉄管) 略 3-2-8-2 X線検査 DD121209081					
	1口当たり	3-2-3-2 A稼(検査 pb/121209061) 1口当たり					
	名 称 員数 単位 摘 要	名 称					
	X線検査(日当り) 日 3-2-8-3	X線検査(日当り) 日 3-2-8-3					
	諸 雑 費 1.0 式	諸 雑 費 1.0 式					
	計 1口当たり 計 1口当たり検査口数	計 1口当たり 計/日当たり検査口数					
	1口当たり 表3-2-8-2	1口当たり 表3-2-8-2					
	 表 3 - 2 - 8 - 2	表 3 - 2 - 8 - 2 X 線検査 DD121209081					
	検査箇所 1日当たり検査口数	検査箇所 1日当たり検査口数					
		水管橋部 6					
	添架管 8	添架管 8					
	その他 5	その他 5					

備考		改正(平成	29年7月)	現行(平成 28 年 7 月)						
水道事業実務必携改正に伴う変更	3-2-8-3 X線 略	検査(日当たり) □D12120909	1	3-2-8-3 X線検査(日当たり) DD121209091 略						
	3-2-8-4 超音》 略	皮探傷試験 DD121209111		3-2-8-4 超音波探傷試験 DD121209111 略						
	表3-2-8-3 超音	音波探傷検査		表 3 - 2 - 8 - 3 超音波探傷検査						
	呼び径	1日当たり標準検査箇所数 (箇所)	1口当たり検査箇所数 (箇所)	呼び径	1日当たり標準検(箇所)	奎 箇所数	1口当たり検査箇所数 (箇所)			
	900mm 以下	6	1	900㎜以下			1			
注釈の追加	1000㎜以上	12 の検査長は30cmとする。	2	1000mm 以上	12		2			
「施工」の文字削除項目の追加式の追加	セ 略 ソ 動力、用水光 現場事務所、試 を含む)。 タ 雑費 アからソまでに) (2)現場管理費の算定 ア 現場管理費は 乗じて得た額の	事業者等に外注する場合に必要と 熱費 験室、労働者宿舎、倉庫及び材料 属さない諸費用 話 表3-3-3の工種区分に従って	4保管庫で使用する電力、	セ 略 ソ 雑費 アからセ (2)現場管理費(ア 現場管理)項目及び内容 費 を専門工事業者等に外注 でに属さない諸費用)算定			管理費率を、当該純工事費に乗		

備考	改正(平成29年7月)	現行(平成28年7月)					
は道事業実務必携改 に伴う変更	(3) 現場管理費率の補正 ア 略 イ 施工地域、工事場所による補正率 (ア) 施工地域、工事場所を考慮した現場管理費率の補正は表3-3-3の現場管理費率標準値に表3-3-2 の補正値を加算するものとする。 表3-3-2 補正値	(3) 現場管理費率の補正 ア 略 イ 施工地域、工事場所による補正率 (ア) 施工地域、工事場所を考慮した現場管理費率の補正は表3-3-3の現場管理費率標準値に表3- 補正値を加算するものとする。 表3-3-2 補正値					
	施工地域・工事箇所区分 補正率(%)	施工地域・工事箇所区分 補正率(%)					
	市 街 地 1.5	市 街 地 1.5					
	山間僻地及び離島 0.5	山間僻地及び離島 0.5					
	施工場所が一般交通等の影響を 受ける場合 地方部	施工場所が一般交通等の影響を 受ける場合 地方部					
記の修正	施工場所が一般交通等の影響を 受けない場合 注1. 施工地域の区分は以下のとおりとする。	施工場所が一般交通等の影響を 受けない場合 0.0					
	注2. 略 注3. 施工地域・工事場所区分が2つ以上となる場合の取扱い 工事場所において、施工地域・工事場所区分が2つ以上となる場合には、補正率の大きい方を適用する。 ウ 略 (4)~(6) 略	山間僻地及び離島、地方部 略 注2. 略 注3. 施工地域区分が2つ以上となる場合の取扱い 工事場所において、地域区分が2つ以上となる場合には、補正率の大きい方を適用する。 ウ 略 (4)~(6) 略					

備考			改正(平成 29 年	-7月)		現行(平成 28 年	 F 7 月)
水道事業実務必携改正に伴う変更	計		とは、下記のものとし、「処分費等」を 二事費等の積算は、表のとおりとする。	: 含む工事の積算は、当該処分費等を直接工事費に			を含む工事の積算は、当該処分費等を直接工事費に
文言及び説明文の修 正			処分費等が、「共通仮設費対象額(P)」	処分費等が、「共通仮設費対象額(P)」 の3%を超える場合または処分費等が3 千万円を超える場合	区分		処分費等が、「共通仮設費対象額(P)」 <u>に占める割合が</u> 3%を超える場合または 処分費等が3千万円を超える場合
		共 通 仮 設費	処分費等は全額を率計算の対象とする。	処分費等は「共通仮設費対象額(P)」の 3%の金額を率計算の対象とし、3%を超 える金額は、率計算の対象としない。ただ し、対象とする金額は3千万円を上限とす	共 通 仮 設費	全額を率計算の対象とする。	処分費等が、「共通仮設費対象額(P)」 に占める割合の3%とし、3%を超える金 額は、率計算の対象としない。ただし、対 象となる金額は3千万円を上限とする。
		現 場 管 理費	<mark>処分費等は</mark> 全額を率計算の対象とする。	る。 処分費等は「共通仮設費対象額(P)」の 3%の金額を率計算の対象とし、3%を超 える金額は、率計算の対象としない。ただ	現 場 管 理費	全額を率計算の対象とする。	処分費等 <u>が、</u> 「共通仮設費対象額(P)」 に占める割合の3%とし、3%を超える金 額は、率計算の対象としない。ただし、対 象となる金額は3千万円を上限とする。
		一 般	処分費等は全額を率計算の対象とす	し、対象とする金額は3千万円を上限とする。 処分費等は「共通仮設費対象額(P)」の 3%の金額を率計算の対象とし、3%を超	一般管理費等	全額を率計算の対象とする。	処分費等 <u>が、</u> 「共通仮設費対象額(P)」 に占める割合の3%とし、3%を超える金 額は、率計算の対象としない。ただし、対 象となる金額は3千万円を上限とする。
		管理費等	る。	える金額は、率計算の対象としない。ただ し、対象とする金額は3千万円を上限とす る。	注意 1 ~ 2	略	
「薪炭」の削除「輌」の文字訂正	3-5 (1アケーソータ2 (3 費	 ク動っな 一次動っな 一次動力を 一次付り 一般率 一般率 一般等 一般率 一般	登等の項目及び内容 < 光熱費 水道、ガス等の費用 略	、表3-5-1の工事原価ごとに求めた一般管理 こついては、「3-2共通仮設費(1)率計算によ	ア〜ク 略 ケ 動力、用 電力、 コ〜セ ソ 減価 建物、 タ〜ナ 利 タ〜ナ 利 略 (2)付加利 略 (3)一般管理費 費等率を当該 なお、一般管 なお、一般管	費の項目及び内容 水光熱費 、水道、ガス <u>、薪炭</u> 等の費用 略 費 、車 <u>輌</u> 、機械装置、事務用備品等の減価値 費等の算定 等は、(1)及び(2)の額の合計額とし 工事原価に乗じて得た額の範囲内とする。	し、表3-5-1の工事原価ごとに求めた一般管理 こついては、「3-2共通仮設費(1)率計算による
式の追加							

備考	改正(平成 29 年 7 月)	現行(平成 28 年 7 月)
水道事業実務必携改正に伴う変更	(4) 一般管理費等の補正 ア 略 イ 契約の保証に必要な費用の取扱い 前払金支出割合の相違による補正までを行った値に、表3-5-3の補正値を加算したものを一般 管理費等とする。 ウ〜エ 略 表3-5-1 一般管理費等率	(4) 一般管理費等率の補正 ア 略 イ 契約の保証に必要な費用の取扱い 前払金支出割合の相違による補正までを行った値に、表 3 - 5 - 3 の補正値を加算したものを一般 管理費等率とする。 ウ~エ 略 表 3 - 5 - 1 一般管理費等率
文言修正	(1) 前払金支出割合が35%を超え40%以下の場合 工 事 原 価 500万円以下 500万円を超え30億円以下 30億円を超えるもの 一般管理費等率 20.29% 一般管理費等率算定式により算出された率 7.41% 表 3 - 5 - 2 一般管理費等率の補正 略	(1) 前払金支出割合が35%を超え40%以下の場合 工 事 原 価 500万円以下 500万円を超え30億円以下 30億円を超えるもの 一般管理費等 20.29% 一般管理費等率算定式により算出された率 7.41% 表 3 - 5 - 2 一般管理費等率の補正 略
ただし書き削除	表 3 - 5 - 3 契約保証に係る一般管理費等率の補正 保証の方法 補正値(%) ケース 1:発注者が金銭的保証を必要とする場合。 0.04 ケース 2:発注者が役務的保証を必要とする場合。 0.09	表 3 - 5 - 3 契約保証に係る一般管理費等率の補正 保証の方法
②、③削除	ケース3:ケース1及び2以外の場合。 補正しない (注) 1.ケース-3の具体例は以下のとおり。 予算決算及び会計令第100条の2第1項第1号の規定により工事請負契約書の作成を省略できる工事請 負契約である場合 2.契約保証費を計上する場合は、原則として当初契約の積算に見込むものとする。	ケース2:発注者が役務的保証を必要とする場合。 0.09 ケース3:ケース1及び2以外の場合。 補正しない (注) 1.ケース-3の具体例は以下のとおり。 ①予算決算及び会計令第100条の2第1項第1号の規定により工事請負契約書の作成を省略できる工事請負契約である場合
番号表記の修正	 3-7 消費税等相当額 (1) 消費税等相当額は、工事価格に消費税の税率を乗じて得た額とする。なお、工事価格に係る各費目の積算に使用する材料等の価格等は、消費税等相当額を含まないものとする。 3-8 イメージアップ経費 (1) ~ (2) 略 (3) 積算方法 1) イメージアップ経費の積算について 略 2) 設計変更について 	②特定建設工事共同企業体により競争を行わせる場合 ③契約保証を必要とするケースと必要としないケースが混在する混合入札の場合、契約保証費は積算では計上しないものとする。 2. 契約保証費を計上する場合は、原則として当初契約の積算に見込むものとする。 3 - 7 消費税相当額 (2) 消費税相当額(2) 消費税相当額に、工事価格に消費税の税率を乗じて得た額とする。なお、工事価格に係る各費目の積算に使用する材料等の価格等は、消費税相当額を含まないものとする。 3 - 8 イメージアップ経費 (1) ~ (2) 略 (3) 積算方法 ① イメージアップ経費の積算について略 ② 設計変更について

備考			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	正(平成 29	9年7月)					上行(平成 2 8	平成29年7月改1 3 年7月)
	(1) 積 によっ 表5- [注1)	算の方法はの 方法はの 1 設計変更 事 積 変 追 既契約時	とする。なお、設計変更の区分 『の区分と積算について	と積算の関係 算 歩 担契約 既契約 で更指示 既契約 で要指示 または変更形	掛 特点 特点 時点 特点 時点 設計の契約時点をいう。	(3) 積算 によっ 表5-1 注2)	章の方法はのでででできます。 でででできます できます できまり できます はい でいま はい こう はい こう はい とり はい こう はい	Dとする。なお 更の区分と 分 工 同 同 類 新 同 類 新 一 似 同 類 新 一 以 時点とは、当	の区分により既契約 3、設計変更の区分 費算について 積 単 価 既契約時点 既契約時点 変更指示時点 既契約時点 変更指示時点	と積算の関係 第	is.
文言の修正	表	5-2 事項 事項 精算事項 変更事項	規格、工法、構造等のいず	D図面は変更 量の変更を行 D図面、材料、	摘 要 ・図面と数量の不一致 ・設計図書と工事現場状況の不一致による変更 ・設計図書による契約条件又は契約直後に指示した条件変更によるもの ・工事現場の取合いの関係又は工事施工途中において 生じた条件変更によるもの	表 5	-2 事項 積算事項 変更事項	積算事項 しないが うものでで 変更事項 規格、コ	事項の定動 頭とは、工事目的物の 、その内訳である数量	図面は変更 を との変更を行 図面、材料、	摘 要 ・図面と数量の不一致 ・設計図書と工事現場状況の不一致による変更 ・設計図書による契約条件又は契約直後に指示した条件変更によるもの ・工事現場の取合いの関係又は工事施工途中において 生じた条件変更によるもの
		追加事項	追加事項とは、契約書第1条書に含まれない事項を新しくうとするもの及び工事施工途じた著しい条件変更によるもの	追加契約しよ 中において生	・用地問題解決等による未契約箇所の追加		追加事項	書に含ま	夏とは、契約書第1条にれない事項を新しく の及び工事施工途らの及び工事施工途らい条件変更によるもの	追加契約しよ 中において生	・工事区間延長の追加・用地問題解決等による未契約箇所の追加・橋梁下部工の基数の追加・暫定断面を完成断面によるもの

備考			改正(平成 29 年	丰 7月)					現行(平成28年	7月)	
	第Ⅱ章 標準歩掛					第	Ⅲ章 標準歩掛				
	第1節 管路工 (開	削)					1節 管路工(開削	[J])			
	1-1 共通工						- 1 共通工				
	1-1-1 防食テ	ープ巻付工				1	-1-1 防食テー	ープ巻付工			
	略	SLL=	=				略				
	1-1-2 ポリエ			- 	\neg	1 -		チレンスリーブ被覆			\neg
		<u> </u>	単位摘	要			名 称		単位摘	要	_
	<u> 配 </u>	工 <u></u> 業 員	人 表1-2	2			配 管 普 通 作	工 業 員	人 表1-2		
	ポリエチレン		m "				ポリエチレンス		人 " m "		_
			m "					ー プ	m "		
	諸雑	費 1.0	式				諸維	費 1.0	式		
	計						計				
	1.0m当たり)	計/100)			1.0m当たり		計/100		
	表1-2ポリエチ	レンスリーブ被覆	Ľ			1	表1-2ポリエチレ	レンスリーブ被覆工			
			T	1411-412	100m当たり		-		ı	1 1011	100m当7
	呼び径(mm)	配管工(人)	普通作業員(人)	ポリエチレン スリーブ(m)	粘着テープ(m)		呼び径(㎜)	配管工(人)	普通作業員(人)	ポリエチレン スリーブ(m)	粘着テーフ
訂正	50まで	0. 25	0. 25	150. 0	51. 0		50まで	0. 25	0. 25	160. 0	51. 0
	75	0. 25	0. 25	150. 0	51. 0		75	0. 25	0. 25	150. 0	51. 0
	100	0. 30	0. 30	150. 0	61. 2		100	0. 30	0. 30	150. 0	61. 2
	150	0. 35	0. 35	144. 0	83. 6		150	0. 35	0. 35	144. 0	83. 6
	200	0. 43	0. 43	144. 0	104. 0		200	0. 43	0. 43	144. 0	104.
	300	0. 59	0. 59	140. 0	147. 9		300	0. 59	0. 59	140. 0	147.
	400	0. 75	0. 75	128. 3	190. 4		400	0. 75	0. 75	128. 3	190.
	500	0. 91	0. 91	137. 5	232. 9		500	0. 91	0. 91	137. 5	232.
	600	1. 00	1. 00	137. 5	275. 4		600	1. 00	1. 00	137. 5	275. 4
	700	1. 17	1. 17	137. 5	317. 9		700	1. 17	1. 17	137. 5	317.
	800	1. 33	1. 33	137. 5	360. 4		800	1. 33	1. 33	137. 5	360. 4
	900	1. 50	1. 50	137. 5	404. 6		900	1. 50	1. 50	137. 5	404.
1	1, 000	1, 67	1, 67	137. 5	447. 1		1, 000	1, 67	1, 67	137. 5	447. 1
	1, 100	1. 83	1. 83	137. 5	489. 6		1, 100	1. 83	1. 83	137. 5	489. 6
	1, 200	2. 00	2. 00	137. 5	532. 1		1, 200	2. 00	2. 00	137. 5	532.
	1, 350	2. 25	2. 25	137. 5	596. 7		1, 350	2. 25	2. 25	137. 5	596.
	1, 500	2. 50	2. 50	137. 5	659. 6		1, 500	2. 50	2. 50	137. 5	659.
	1, 600	2. 80	2. 80	151. 3	698. 7		1, 600	2. 80	2. 80	151. 3	698.
	1, 650	3. 10	3. 10	151. 3	719. 1		1, 650	3. 10	3. 10	151. 3	719.
	1, 800	3. 40	3. 40	151. 3	780. 3		1, 800	3. 40	3. 40	151. 3	780.
	2,000	3. 75	3. 75	151. 3	869. 6		2, 000	3. 75	3. 75	151. 3	869.
	2, 100	4. 05	4. 05	151. 3	912. 9		2, 100	4. 05	4. 05	151. 3	912.
	2, 200	4. 50	4. 50	151. 3	961. 4		2, 200	4. 50	4. 50	151. 3	961.
	2, 400	5. 00	5. 00	151. 3	1, 035. 3		2, 400	5. 00	5. 00	151. 3	1, 035
1	2, 400	ə. UU	5.00	151. 3	1, 129. 7		2, 600	5. 50	5. 50	151. 3	1, 129

備考			改正	E (平成 29 年 7 月)						現行	f (平成 28 年 7 月)		平成29年7月5
水道事業実務必携改正に伴う変更	第Ⅱ章 標準歩掛						第Ⅰ	I 章 標準歩持	卦				
正に円)及父	1-2-2 鋼管	管、ステンレ.	ス鋼管				1 _	- 2 — 2 鋼管	ヴ フテンル	フ細答			
	1-2-2-1	鋼管据付工	(人力) DD121	203021 撤去工 DD1212	03022						202001 松十丁 DD1010	02000	
	表 2 - 6 鋼管据							- 2 — 2 — 1 2 — 6 鋼管排		(人力) DD121	203021 撤去工 DD1212	03022	
	呼び径	配管工	普通作業員			0 m当たり 賃 料						1	0m当たり
	(mm)	(人)	(人)	機種	(H)	(日)		呼び径 (mm)	配管工 (人)	普通作業員 (人)	機 種	運転時間 (H)	賃 料 (日)
	80	0.05	0. 07		1. 14	_		80	0.05	0.07		1. 14	_
	100	0.05	0. 07	クレーン付トラック	1. 27	_		100	0.05	0.07	クレーン付トラック	1. 27	_
	150	0.06	0.08	4 t 積 2.9 t 吊	1. 34	_		150	0.06	0.08	4 t 積	1. 34	_
	200	0.07	0.09	2. 9 tm	1. 41	_		200	0.07	0.09	2. 9 t 吊	1. 41	_
	300	0.09	0. 17		1. 54	_		300	0.09	0.17		1. 54	_
	400	0. 15	0. 23		_	0.29		400	0.15	0. 23		_	0.29
	500	0. 20	0. 29		_	0.32		500	0.20	0. 29		_	0.32
	600	0. 24	0. 36	トラッククレーン	_	0.34		600	0.24	0.36	トラッククレーン	_	0.34
	700	0. 29	0. 43	(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊	_	0.36		700	0.29	0. 43	(油圧伸縮ジブ型)	_	0.36
	800	0.34	0. 52	4. 9 till	_	0.39		800	0.34	0.52	4. 9 t 吊	_	0.39
	900	0.40	0. 61		_	0.41		900	0.40	0.61		_	0.41
	1,000	0.48	0.73		_	0. 45		1,000	0.48	0.73		_	0.45
	1, 100	0.53	0.78		_	0.48		1, 100	0.53	0.78		_	0.48
	1, 200	0.68	1. 02		_	0. 52		1, 200	0.68	1.02		_	0.52
	1,350	0.85	1. 29	10.5	_	0.56		1, 350	0.85	1. 29		_	0.56
	1,500	1. 07	1. 61	16 t吊	_	0.61		1,500	1. 07	1.61	16 t吊	_	0.61
	1,650	1. 43	3. 22		_	0.81		1,650	1. 43	3. 22		_	0.81
	1,800	1. 95	4. 40		_	0.89		1,800	1.95	4. 40		_	0.89
) IBI/	2,000	2.08	4. 68		_	0.95		2,000	2.08	4. 68		_	0.95
クレーン規格の変更	3,000	4. 19	8. 18	3 5 t 吊	_	1. 48		3,000	4. 19	8. 18	3 O t 吊	_	1. 48
	注1~4 略							注1~4 略					

備考			改正(平	成 29 年 7 月)					現行	(平成28年7月))	
《道事業実務必携改 Eに伴う変更	1-2-4 継表2-15 N				1	0 口当たり		継手類(接合 NS形鋳鉄管			1	0口当たり
	呼び径 (mm)	西己	管工 (人)	普通作	手業員(人)	諸雑費	呼び径()		普通	作業員(人)	諸雑費
		直管	異形管	直管	異形管	· 柏雅貝	POME (直管	異形管	直管	異形管	商 批 負
	75	0.50	0.65 (0.65)	0.50	0.65(0.65)		75	0.50	0. 65 (0. 65)	0.50	0.65(0.65)	
	100	0.50	0.65(0.65)	0.50	0.65(0.65)	- - 労務費の1%	100	0.50	0. 65 (0. 65)	0.50	0.65(0.65)	- 労務費の1%
	150	0.50	0.65 (0.78)	0.50	0.65 (0.78)] ////////////////////////////////////	150	0.50	0.65(0.78)	0.50	0.65(0.78)	
	200	0.60	0. 78 (0. 91)	0.60	0. 78 (0. 91)		200	0.60	0. 78 (0. 91)	0.60	0. 78 (0. 91)	
	300	1. 00	1. 17	1.00	1. 17	│ │ 労務費の4% │	300	1.00	1. 17	1.00	1. 17	労務費の4%
	400	1. 10	1. 30	1. 10	1. 30	万场页 074 /0	400	1. 10	1. 30	1. 10	1. 30	刀伤貝の4/0
	500	1. 30	1. 56	1. 30	1. 56		500	1. 30	1. 56	1. 30	1. 56	<u> </u>
	600	1. 50	1. 80	1. 50	1. 80		600	1. 50	1. 80	1. 50	1. 80	_
	700	1.80	2. 16	1.80	2. 16	│ │ 労務費の1% │	700	1.80	2. 16	1.80	2. 16	労務費の1%
	800	2. 30	2. 76	2. 30	2. 76	7,37,50,170	800	2. 30	2. 76	2. 30	2. 76	为初展 (7)
	900	2.60	3. 12	2. 60	3. 12	_	900	2.60	3. 12	2.60	3. 12	_
	1000 注1 本表は、	3. 10	3.72 (全) 3.72	3. 10	3. 72		<u>1000</u> 注1 本表		3.72 特管の接合に適用する	3. 10	3. 72	
釈の追加	注4 呼び径50	00mmから1000	の継輪の接合は() mの諸雑費には、油圧 mmのライナを含む継 継手の接合にも適用す	手の接合は、	ペンプ等の接合器具 異形管の数値とする	.損料を含む。 る。	注3 呼C 注4 呼C	※径300mmから40 ※径500mmから10	mmの継輪の接合は(Ommの諸雑費には、約 OOmmのライナを含む	由圧シリンダ・ 継手の接合は、	ポンプ等の接合器具 異形管の数値とす	.損料を含む。 る。
釈の追加	注5 本表は、	00mmから1000 ライナを含む G X形鋳鉄	mmのフイナを含む継・ <mark>継手の接合にも適用す</mark> 管接合工 DD1212021	` る。 ──	ポンプ等の接合器具 異形管の数値とする DD121202142	損料を含む。 る。 10口当たり	注4 呼C 1-2-4 略	径500mmから10	90mmのライナを含む 鉄管接合工 DD1212	継手の接合は、 	ポンプ等の接合器具 異形管の数値とす DD121202142	損料を含む。 る。 10口当たり
駅の追加	注4 呼び径50 注5 本表は、 1-2-4-4 略	00mmから1000 ライナを含む。 G X形鋳鉄 X形鋳鉄管接	mmのフイナを含む継・ <mark>継手の接合にも適用す</mark> 管接合工 DD1212021	手の接合は、 る。 41 取外工	異形管の数値とす。	る。 <u>10口当たり</u>	注4 呼C 1-2-4 略	「径500mmから10 - 4 G X 形鋳 G X 形鋳鉄管	90mmのライナを含む 鉄管接合工 DD1212 接合工 l管工 (人)	継手の接合は、 02141 取外工	異形管の数値とす	る。 <u>10口当たり</u>
尺の追加	注4 呼び径50 注5 本表は、 1-2-4-4 略 表 2-16 G	00mmから1000 ライナを含む。 G X形鋳鉄 X形鋳鉄管接	mmのフイナを含む継: 継手の接合にも適用す 管接合工 DD1212021 合工 (人)	+の接合は、 る。 41 取外工 普	異形管の数値とす。 DD121202142	10口当たり	注4 呼C 1-2-4 略 表2-16	*径500mmから10 - 4 G X形鋳 G X形鋳鉄管:	90mmのライナを含む 鉄管接合工 DD1212 接合工 l管工 (人)	継手の接合は、 02141 取外工	異形管の数値とす DD121202142 普通作業員(人)	3。
	注4 呼び径50 注5 本表は、 1-2-4-4 略 表 2-16 GI 呼び径 (mm)	00mmから1000 ライナを含む; G X形鋳鉄 X形鋳鉄管接 配管	mmのフイナを含む継: 継手の接合にも適用す 管接合工 DD1212021 合工 (人)	+の接合は、 る。 41 取外工 普 直管	異形管の数値とす。 DD121202142 通作業員(人)	5。 10口当たり 諸雑費	注4 呼び 1-2-4 略 表2-16	「径500mmから10 - 4 G X 形鋳 G X 形鋳鉄管	90mmのライナを含む 鉄管接合工 DD1212 接合工 管工 (人) 異形管	継手の接合は、 02141 取外工 音 直管	異形管の数値とす DD121202142 普通作業員(人)	る。 10口当たり 諸雑費
	注4 呼び径50 注5 本表は、 1-2-4-4 略 表 2-16 GI 呼び径 (mm) 75 0.	00mmから1000 ライナを含む。 G X 形鋳鉄 X 形鋳鉄管接 配管 直管	mmのフイナを含む継: 継手の接合にも適用す 管接合工 DD1212021 合工 テエ (人) 異形管	手の接合は、 る。 41 取外工 普 直管 0.50(0.	異形管の数値とす。 DD121202142 通作業員(人) 異形管	10口当たり 計雑費	注4 呼び 1-2-4 略 表2-16	「径500mmから10 - 4 G X 形鋳 G X 形鋳鉄管 直管	00mmのライナを含む 鉄管接合工 DD1212 接合工 増管工 (人) 異形管) 0.50(0.65)	継手の接合は、 02141 取外工 直管 0.50(0.	異形管の数値とす DD121202142 音通作業員(人) 異形管	3。 10口当たり <u>諸雑費</u> 5)
	注4 呼び径50 注5 本表は、 1-2-4-4 略 表 2-16 G2 呼び径 (mm) 75 0. 100 0.	00mmから1000 ライナを含む。 G X形鋳鉄 X形鋳鉄管接 配管 直管 50(0.65)	mmのフイナを含む継・ 継手の接合にも適用す 管接合工 DD1212021 合工 ・	手の接合は、 る。 41 取外工 普 直管 0.50(0. 0.50(0.	異形管の数値とす。 DD121202142 通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.8	10口当たり <u>諸雑費</u> 0) 0)	注4 呼び 1-2-4 略 表2-16 呼び径 (mm) 75	·径500mmから10 - 4 G X 形鋳 G X 形鋳鉄管: 直管 0.50(0.65	30mmのライナを含む 鉄管接合工 DD1212 安合工 増工 (人) 異形管) 0.50(0.65)) 0.50(0.65)	継手の接合は、 02141 取外工 直管 0.50(0. 0.50(0.	異形管の数値とす DD121202142 音通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.6	3。 10口当たり 諸雑費 5) 5)
	注4 呼び径50 注5 本表は、 1-2-4-4 略 表 2-16 G 呼び径 (nm) 75 0. 100 0. 150 0.	00mmから1000 ライナを含む。 GX形鋳鉄 X形鋳鉄管接 配管 直管 50(0.65) 50(0.65)	mmのフイナを含む継: 継手の接合にも適用す 管接合工 DD1212021 合工	手の接合は、 る。 41 取外工 普 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.50(0.	異形管の数値とす。 DD121202142 通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.8 65) 0.50(0.8	10口当たり 	注4 呼び 1-2-4 略 表 2-16 呼び径 (mm) 75 100	でである。	200mmのライナを含む 鉄管接合工 DD1212 接合工 (人) 異形管) 0.50(0.65)) 0.60(0.78)	継手の接合は、 02141 取外工 道管 0.50(0. 0.50(0. 0.50(0.	異形管の数値とす DD121202142 普通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.665) 0.50(0.665)	る。 10口当たり 諸雑費 5) 5) 8) 労務費の
	注4 呼び径50 注5 本表は、 1-2-4-4 略 表 2-16 G2 呼び径 (mm) 75 0. 100 0. 150 0. 200 0.	00mmから1000 ライナを含む。 G X形鋳鉄 X 形鋳鉄管接 直管 50 (0.65) 50 (0.65)	mmのフイナを含む継: 継手の接合にも適用す 管接合工 DD1212021 合工 (でまして) 異形管 (0.50(0.80) (0.60(0.96)	手の接合は、 - 3。 41 取外工 普 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.60(0.	異形管の数値とする DD121202142 通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.8 65) 0.50(0.8 65) 0.60(0.9	10口当たり	注4 呼び 1-2-4 略 表2-16 呼び径 (mm) 75 100 150	でである。 「本のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	次管接合工 DD1212 接合工 (人) 異形管) 0.50(0.65)) 0.60(0.78)) 0.70(0.91)	継手の接合は、 02141 取外工 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.50(0. 0.60(0.	異形管の数値とす DD121202142 音通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.6 65) 0.60(0.7	3。 10口当たり 諸雑費 5) 5) 8) 1) 労務費の 1%
	注4 呼び径50 注5 本表は、 1-2-4-4 略 表 2-16 G2 呼び径 (mm) 75 0. 100 0. 150 0. 200 0. 300 0.	00mmから1000 ライナを含む。 G X形鋳鉄 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	mmのフイナを含む継・ 継手の接合にも適用す 管接合工 DD1212021 合工 テエ (人) 異形管 0.50(0.80) 0.50(0.80) 0.60(0.96) 0.70(1.12)	手の接合は、 ・	異形管の数値とする DD121202142 通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.8 65) 0.50(0.8 65) 0.60(0.9 78) 0.70(1.1	10口当たり 諸雑費 0) 0) 6) 2) 4)	注4 呼び 1-2-4 略 表 2-16 呼び径 (mm) 75 100 150 200	で (2500mmから10 - 4 G X形鋳 G X形鋳鉄管: 直管 0.50(0.65 0.50(0.65 0.50(0.78	次管接合工 DD1212 接合工 関管工(人) 関節 関節 の、50(0.65) の、50(0.65) の、60(0.78) の、70(0.91) の、90(1.17)	継手の接合は、 02141 取外工 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.50(0. 0.60(0. 0.90(1.	異形管の数値とす DD121202142 音通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.6 65) 0.50(0.7 78) 0.70(0.9	10口当たり 諸雑費 5) 5) 8) 労務費の 1% 7)
	注4 呼び径50 注5 本表は、 1-2-4-4 略 表 2-16 G2 呼び径 (mm) 75 0. 100 0. 150 0. 200 0. 300 0. 400 1. 注1 P-Linkの	00mmから1000 ライナを含む。 G X形鋳鉄 X形鋳鉄管接 直管 50(0.65) 50(0.65) 50(0.65) 60(0.78) 90(1.17) 00(1.30) 接合は直管の	mmのフイナを含む継: 継手の接合にも適用す 管接合工 DD1212021 合工 デエ (人) 異形管 0.50(0.80) 0.50(0.80) 0.60(0.96) 0.70(1.12) 0.90(1.44) 1.20(1.92) 0.) 内の数値とする	手の接合は、 ・ る。 41 取外工 普 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.50(0. 0.60(0. 0.90(1. 1.00(1.	異形管の数値とする DD121202142 通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.8 65) 0.50(0.8 65) 0.60(0.9 78) 0.70(1.1 17) 0.90(1.4	10口当たり 諸雑費 0) 0) 6) 2) 4)	注4 呼び 1-2-4 略 表 2-16 呼び径 (mm) 75 100 150 200 300 400 注1 P-L	で (2500mmから10 - 4 G X形鋳: G X形鋳鉄管: 直管 0.50(0.65 0.50(0.65 0.50(0.78 0.90(1.17 1.00(1.30 nkの接合は直管	映管接合工 DD1212 接合工 (人) 異形管 0.50(0.65) 0.50(0.65) 0.60(0.78) 0.70(0.91) 0.90(1.17) 1.00(1.30) たの () 内の数値とす	継手の接合は、 02141 取外工 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.50(0. 0.60(0. 0.90(1. 1.20(1.	異形管の数値とす DD121202142 普通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.6 65) 0.50(0.7 78) 0.70(0.9 17) 0.90(1.1	10口当たり 諸雑費 5) 5) 8) 労務費の 1% 7)
	注4 呼び径50 注5 本表は、 1-2-4-4 略 表 2-16 G 2 呼び径 (mm) 75 0. 100 0. 150 0. 200 0. 300 0. 400 1. 注1 P-Linkの 注2 G-Linkの	00mmから1000 ライナを含む。 G X 形鋳鉄 X 形鋳鉄管接 直管 50 (0.65) 50 (0.65) 50 (0.65) 60 (0.78) 90 (1.17) 00 (1.30) 接合は直管の 接合は異形管	mmのフイナを含む継: 継手の接合にも適用す 管接合工 DD1212021 合工 デエ (人) 異形管 0.50(0.80) 0.50(0.80) 0.60(0.96) 0.70(1.12) 0.90(1.44) 1.20(1.92) つ()内の数値とする 音の()内の数値とする	手の接合は、 ・ る。 41 取外工 普 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.50(0. 0.60(0. 0.90(1. 1.00(1. 。	異形管の数値とする DD121202142 通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.8 65) 0.50(0.8 65) 0.60(0.9 78) 0.70(1.1 17) 0.90(1.4	10口当たり 諸雑費 0) 0) 6) 2) 4)	注4 呼び 1-2-4 略 表 2-16 呼び径 (mm) 75 100 150 200 300 400 注1 P-L 注2 G-L	で (2500mmから10 - 4 G X 形 (35) - 4 G X 形 (35) - 6 G X 形 (35) - 6 E E E E E E E E E E E E E E E E E E	次管接合工 DD1212 要合工 関節 (人) 異形管 (人) 現形管 (人) の、50 (0、65) (0、65) (0、65) (0、70 (0、91) (0、90 (1、17) (0、90 (1、30) (0、内の数値とする) (0、Dのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	継手の接合は、 02141 取外工 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.50(0. 0.60(0. 0.90(1. 1.20(1. つる。	異形管の数値とす DD121202142 普通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.6 65) 0.50(0.7 78) 0.70(0.9 17) 0.90(1.1	10口当たり 諸雑費 5) 5) 8) 労務費の 1% 7)
卦の変更	注4 呼び径50 注5 本表は、 1-2-4-4 略 表 2-16 G 呼び径 (mm) 75 0. 100 0. 150 0. 200 0. 300 0. 400 1. 注1 P-Linkの 注2 G-Linkの 注3 撤去工に	00mmから1000 ライナを含む G X形鋳鉄 X 形鋳鉄管接 直管 50 (0.65) 50 (0.65) 50 (0.65) 60 (0.78) 90 (1.17) 00 (1.30) 分接合は異形管 ついては、以	mmのフイナを含む継・ 継手の接合にも適用す 管接合工 DD1212021 合工 デエ (人) 異形管 0.50(0.80) 0.50(0.80) 0.60(0.96) 0.70(1.12) 0.90(1.44) 1.20(1.92) つ()内の数値とする まの()内の数値とする よ下のとおり本歩掛を	手の接合は、 ・る。 41 取外工 普 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.60(0. 0.90(1. 1.00(1. 。 る。 補正する。	異形管の数値とする DD121202142 通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.8 65) 0.50(0.8 65) 0.60(0.9 78) 0.70(1.1 17) 0.90(1.4	10口当たり 諸雑費 0) 0) 6) 2) 4)	注4 呼び 1-2-4 略 表 2-16 呼び径 (mm) 75 100 150 200 300 400 注1 P-L 注2 G-L	で (2500mmから10 - 4 G X 形 (35) - 4 G X 形 (35) - 6 G X 形 (35) - 6 E E E E E E E E E E E E E E E E E E	映管接合工 DD1212 接合工 (人) 異形管 0.50(0.65) 0.50(0.65) 0.60(0.78) 0.70(0.91) 0.90(1.17) 1.00(1.30) たの () 内の数値とす	継手の接合は、 02141 取外工 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.50(0. 0.60(0. 0.90(1. 1.20(1. つる。	異形管の数値とす DD121202142 普通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.6 65) 0.50(0.7 78) 0.70(0.9 17) 0.90(1.1	10口当たり 諸雑費 5) 5) 8) 労務費の 1% 7)
釈の追加掛の変更	注4 呼び径50 注5 本表は、 1-2-4-4 略 表 2-16 G 呼び径 (mm) 75 0. 100 0. 150 0. 200 0. 300 0. 400 1. 注1 P-Linkの 注2 G-Linkの 注3 撤去工に	00mmから1000 ライナを含む G X形鋳鉄 X 形鋳鉄管接 直管 50 (0.65) 50 (0.65) 50 (0.65) 60 (0.78) 90 (1.17) 00 (1.30) 分接合は異形管 ついては、以	mmのフイナを含む継: 継手の接合にも適用す 管接合工 DD1212021 合工 デエ (人) 異形管 0.50(0.80) 0.50(0.80) 0.60(0.96) 0.70(1.12) 0.90(1.44) 1.20(1.92) つ()内の数値とする テの()内の数値とする テの()内の数値とする	手の接合は、 ・る。 41 取外工 普 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.60(0. 0.90(1. 1.00(1. 。 る。 補正する。	異形管の数値とする DD121202142 通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.8 65) 0.50(0.8 65) 0.60(0.9 78) 0.70(1.1 17) 0.90(1.4	10口当たり 諸雑費 0) 0) 6) 2) 4)	注4 呼び 1-2-4 略 表 2-16 呼び径 (mm) 75 100 150 200 300 400 注1 P-L 注2 G-L	で (2500mmから10 - 4 G X 形 (35) - 4 G X 形 (35) - 6 G X 形 (35) - 6 E E E E E E E E E E E E E E E E E E	次管接合工 DD1212 要合工 関節 (人) 異形管 (人) 現形管 (人) の、50 (0、65) (0、65) (0、65) (0、70 (0、91) (0、90 (1、17) (0、90 (1、30) (0、内の数値とする) (0、Dのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	継手の接合は、 02141 取外工 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.50(0. 0.60(0. 0.90(1. 1.20(1. つる。	異形管の数値とす DD121202142 普通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.6 65) 0.50(0.7 78) 0.70(0.9 17) 0.90(1.1	10口当たり 諸雑費 5) 5) 8) 労務費の 1% 7)
掛の変更	注4 呼び径50 注5 本表は、 1-2-4-4 略 表 2-16 G 呼び径 (mm) 75 0. 100 0. 150 0. 200 0. 300 0. 400 1. 注1 P-Linkの 注2 G-Linkの 注3 撤去工に	00mmから1000 ライナを含む G X形鋳鉄 X 形鋳鉄管接 直管 50 (0.65) 50 (0.65) 50 (0.65) 60 (0.78) 90 (1.17) 00 (1.30) 分接合は異形管 ついては、以	mmのフイナを含む継・ 継手の接合にも適用す 管接合工 DD1212021 合工 デエ (人) 異形管 0.50(0.80) 0.50(0.80) 0.60(0.96) 0.70(1.12) 0.90(1.44) 1.20(1.92) つ()内の数値とする まの()内の数値とする よ下のとおり本歩掛を	手の接合は、 ・る。 41 取外工 普 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.60(0. 0.90(1. 1.00(1. 。 る。 補正する。	異形管の数値とする DD121202142 通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.8 65) 0.50(0.8 65) 0.60(0.9 78) 0.70(1.1 17) 0.90(1.4	10口当たり 諸雑費 0) 0) 6) 2) 4)	注4 呼び 1-2-4 略 表 2-16 呼び径 (mm) 75 100 150 200 300 400 注1 P-L 注2 G-L	で (2500mmから10 - 4 G X 形鋳 G X 形鋳鉄管: 直管 0.50(0.65 0.50(0.65 0.50(0.65 0.50(0.78 0.90(1.17 1.00(1.30 nkの接合は直管 nkの接合は異形	次管接合工 DD1212 要合工 関節 (人) 異形管 (人) 現形管 (人) の、50 (0、65) (0、65) (0、65) (0、70 (0、91) (0、90 (1、17) (0、90 (1、30) (0、内の数値とする) (0、Dのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	継手の接合は、 02141 取外工 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.50(0. 0.60(0. 0.90(1. 1.20(1. つる。	異形管の数値とす DD121202142 普通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.6 65) 0.50(0.7 78) 0.70(0.9 17) 0.90(1.1	10口当たり 諸雑費 5) 5) 8) 労務費の 1% 7)
掛の変更	注4 呼び径50 注5 本表は、 1-2-4-4 略 表 2-16 G 呼び径 (mm) 75 0. 100 0. 150 0. 200 0. 300 0. 400 1. 注1 P-Linkの 注2 G-Linkの 注3 撤去工に	00mmから1000 ライナを含む G X形鋳鉄 X 形鋳鉄管接 直管 50 (0.65) 50 (0.65) 50 (0.65) 60 (0.78) 90 (1.17) 00 (1.30) 分接合は異形管 ついては、以	mmのフイナを含む継・ 継手の接合にも適用す 管接合工 DD1212021 合工 デエ (人) 異形管 0.50(0.80) 0.50(0.80) 0.60(0.96) 0.70(1.12) 0.90(1.44) 1.20(1.92) つ()内の数値とする まの()内の数値とする よ下のとおり本歩掛を	手の接合は、 ・る。 41 取外工 普 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.60(0. 0.90(1. 1.00(1. 。 る。 補正する。	異形管の数値とする DD121202142 通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.8 65) 0.50(0.8 65) 0.60(0.9 78) 0.70(1.1 17) 0.90(1.4	10口当たり 諸雑費 0) 0) 6) 2) 4)	注4 呼び 1-2-4 略 表 2-16 呼び径 (mm) 75 100 150 200 300 400 注1 P-L 注2 G-L	で (2500mmから10 - 4 G X 形鋳 G X 形鋳鉄管: 直管 0.50(0.65 0.50(0.65 0.50(0.65 0.50(0.78 0.90(1.17 1.00(1.30 nkの接合は直管 nkの接合は異形	次管接合工 DD1212 要合工 関節 (人) 異形管 (人) 現形管 (人) の、50 (0、65) (0、65) (0、65) (0、70 (0、91) (0、90 (1、17) (0、90 (1、30) (0、内の数値とする) (0、Dのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	継手の接合は、 02141 取外工 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.50(0. 0.60(0. 0.90(1. 1.20(1. つる。	異形管の数値とす DD121202142 普通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.6 65) 0.50(0.7 78) 0.70(0.9 17) 0.90(1.1	10口当たり 諸雑費 5) 5) 7) お務費の 1 % 7)
掛の変更	注4 呼び径50 注5 本表は、 1-2-4-4 略 表 2-16 G 呼び径 (mm) 75 0. 100 0. 150 0. 200 0. 300 0. 400 1. 注1 P-Linkの 注2 G-Linkの 注3 撤去工に	00mmから1000 ライナを含む G X形鋳鉄 X 形鋳鉄管接 直管 50 (0.65) 50 (0.65) 50 (0.65) 60 (0.78) 90 (1.17) 00 (1.30) 分接合は異形管 ついては、以	mmのフイナを含む継・ 継手の接合にも適用す 管接合工 DD1212021 合工 デエ (人) 異形管 0.50(0.80) 0.50(0.80) 0.60(0.96) 0.70(1.12) 0.90(1.44) 1.20(1.92) つ()内の数値とする まの()内の数値とする よ下のとおり本歩掛を	手の接合は、 ・る。 41 取外工 普 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.60(0. 0.90(1. 1.00(1. 。 る。 補正する。	異形管の数値とする DD121202142 通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.8 65) 0.50(0.8 65) 0.60(0.9 78) 0.70(1.1 17) 0.90(1.4	10口当たり 諸雑費 0) 0) 6) 2) 4)	注4 呼び 1-2-4 略 表 2-16 呼び径 (mm) 75 100 150 200 300 400 注1 P-L 注2 G-L	で (2500mmから10 - 4 G X 形鋳 G X 形鋳鉄管: 直管 0.50(0.65 0.50(0.65 0.50(0.65 0.50(0.78 0.90(1.17 1.00(1.30 nkの接合は直管 nkの接合は異形	次管接合工 DD1212 要合工 関節 (人) 異形管 (人) 現形管 (人) の、50 (0、65) (0、65) (0、65) (0、70 (0、91) (0、90 (1、17) (0、90 (1、30) (0、内の数値とする) (0、Dのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	継手の接合は、 02141 取外工 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.50(0. 0.60(0. 0.90(1. 1.20(1. つる。	異形管の数値とす DD121202142 普通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.6 65) 0.50(0.7 78) 0.70(0.9 17) 0.90(1.1	10口当たり 諸雑費 5) 5) 7) お務費の 1 % 7)
中の変更	注4 呼び径50 注5 本表は、 1-2-4-4 略 表 2-16 G 呼び径 (mm) 75 0. 100 0. 150 0. 200 0. 300 0. 400 1. 注1 P-Linkの 注2 G-Linkの 注3 撤去工に	00mmから1000 ライナを含む G X形鋳鉄 X 形鋳鉄管接 直管 50 (0.65) 50 (0.65) 50 (0.65) 60 (0.78) 90 (1.17) 00 (1.30) 分接合は異形管 ついては、以	mmのフイナを含む継・ 継手の接合にも適用す 管接合工 DD1212021 合工 デエ (人) 異形管 0.50(0.80) 0.50(0.80) 0.50(0.96) 0.70(1.12) 0.90(1.44) 1.20(1.92) つ()内の数値とする まの()内の数値とする よ下のとおり本歩掛を	手の接合は、 ・る。 41 取外工 普 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.60(0. 0.90(1. 1.00(1. 。 る。 補正する。	異形管の数値とする DD121202142 通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.8 65) 0.50(0.8 65) 0.60(0.9 78) 0.70(1.1 17) 0.90(1.4	10口当たり 諸雑費 0) 0) 6) 2) 4)	注4 呼び 1-2-4 略 表 2-16 呼び径 (mm) 75 100 150 200 300 400 注1 P-L 注2 G-L	で (2500mmから10 - 4 G X 形鋳 G X 形鋳鉄管: 直管 0.50(0.65 0.50(0.65 0.50(0.65 0.50(0.78 0.90(1.17 1.00(1.30 nkの接合は直管 nkの接合は異形	次管接合工 DD1212 要合工 関節 (人) 異形管 (人) 現形管 (人) の、50 (0、65) (0、65) (0、65) (0、70 (0、91) (0、90 (1、17) (0、90 (1、30) (0、内の数値とする) (0、Dのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	継手の接合は、 02141 取外工 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.50(0. 0.60(0. 0.90(1. 1.20(1. つる。	異形管の数値とす DD121202142 普通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.6 65) 0.50(0.7 78) 0.70(0.9 17) 0.90(1.1	3。 10口当たり 諸雑費 5) 5) 8) 1) 7)
トの変更	注4 呼び径50 注5 本表は、 1-2-4-4 略 表 2-16 G 呼び径 (mm) 75 0. 100 0. 150 0. 200 0. 300 0. 400 1. 注1 P-Linkの 注2 G-Linkの 注3 撤去工に	00mmから1000 ライナを含む G X形鋳鉄 X 形鋳鉄管接 直管 50 (0.65) 50 (0.65) 50 (0.65) 60 (0.78) 90 (1.17) 00 (1.30) 分接合は異形管 ついては、以	mmのフイナを含む継・ 継手の接合にも適用す 管接合工 DD1212021 合工 デエ (人) 異形管 0.50(0.80) 0.50(0.80) 0.50(0.96) 0.70(1.12) 0.90(1.44) 1.20(1.92) つ()内の数値とする まの()内の数値とする よ下のとおり本歩掛を	手の接合は、 ・る。 41 取外工 普 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.60(0. 0.90(1. 1.00(1. 。 る。 補正する。	異形管の数値とする DD121202142 通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.8 65) 0.50(0.8 65) 0.60(0.9 78) 0.70(1.1 17) 0.90(1.4	10口当たり 諸雑費 0) 0) 6) 2) 4)	注4 呼び 1-2-4 略 表 2-16 呼び径 (mm) 75 100 150 200 300 400 注1 P-L 注2 G-L	で (2500mmから10 - 4 G X 形鋳 G X 形鋳鉄管: 直管 0.50(0.65 0.50(0.65 0.50(0.65 0.50(0.78 0.90(1.17 1.00(1.30 nkの接合は直管 nkの接合は異形	次管接合工 DD1212 要合工 関節 (人) 異形管 (人) 現形管 (人) の、50 (0、65) (0、65) (0、65) (0、70 (0、91) (0、90 (1、17) (0、90 (1、30) (0、内の数値とする) (0、Dのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	継手の接合は、 02141 取外工 直管 0.50(0. 0.50(0. 0.50(0. 0.60(0. 0.90(1. 1.20(1. つる。	異形管の数値とす DD121202142 普通作業員(人) 異形管 65) 0.50(0.6 65) 0.50(0.7 78) 0.70(0.9 17) 0.90(1.1	3。 10口当たり 諸雑費 5) 5) 8) 1) 7)

												平成29年	7月改1
備考			改正(平	成 29 年 7 月	月)				現行(平	区成 28 年 7	月)		
	1-2 配水管布設コ 1-2-5 管切断 1-2-5-1 鋳鍛 表 2-26-1 鋳鍛 呼び径 (mm) (人人 75 0.1 100 0.16 150 0.13 200 0.26 300 0.26 400 0.23 500 0.36 600 0.36 700 0.46 800 0.46	で管切断工(パイ でで切断工 業員 普通作業員 (人) 5 0.49 6 0.54 8 0.59 0 0.63 4 0.72 8 0.99 4 1.26 0 1.52 8 1.79	・プ切削切断権		フリング (大) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人	口当たり 機械損料 (日) 0.50 0.55 0.60 0.65 0.73 0.82 0.92 1.01 1.13 1.40	1	管切断 1 鋳鉄管切 1 鋳鉄管切			月) 特殊作業員 (人)	平成29年 (日) (日) 0.50 0.55 0.60 0.65 0.73 0.82 0.92 1.01 1.13 1.40	7月改正

備考	改正(平成29年7月)	現行(平成 28 年 7 月)
	改正 (平成29年7月) 1-4 給水管付替工 1-4-6-1 サドル付分水栓取出工 DD121111011 1箇所当たり 名 称 員 数 単 位 摘 要 配 管 エ 人 表4-1-1 普 通 作 業 員 人 表4-1-1 諸 雑 費 1.0 式 表4-1-1 計 注1 本歩掛には、分水栓の取付、穿孔を含む。 注2 分水栓取出及び溶接鋼管からのサドル取出にも適用する。 注3 サドル付分水栓は、別途計上する。 注4 諸雑費には、燃料、穿孔機損料及び損耗費を含む。 注5 サドル付分水栓取外工は、材料をのぞく本歩掛の50%とする。	現行(平成28年7月) 1-4 給水管付替工 1-4-6-1 サドル付分水栓取出工 DD121111011 名 称 員 数 単 位 摘 要
文言の変更	注6 本表は給水管との接合1口を含む。	注3 本表は給水管との接合を含む。

備考			改正	(平成 29 年 7 月)					現行	f(平成 28 年 7 月)		
《道事業実務必携改	1-7 弁設置	I					1-7 弁設置:	I.				
三に伴う変更	1-7-1 仕	切弁					1-7-1 仕	切弁				
	略						略					
		仕切弁据付工	(細垢制 機械	•)				什 切	二(鋼板製、機械))		
	201 3	工列开1917工	(邺水衣、水水	.,	1箇所当たり	1	127 3	17.3/14.19.17.17		()	1 箇所当た	7)
	呼び径	配管工	普通作業員	ラフテレーンクレー		\neg	呼び径	配管工	普通作業員	ラフテレーンクレー		
	(mm)	(人)	(人)	油圧伸縮ジブ型	(日)		(mm)	(人)	(人)	油圧伸縮ジブ型	(日)	
	1,000	2.06	6. 18		0.43	_	1,000	2.06	6. 18		0.43	
	1, 100	2. 16	6. 71	16t吊	0.45	_	1, 100	2. 16	6.71	16 t吊	0.45	_
	1, 200 1, 350	2. 37 2. 58	7. 24 7. 62	 20t吊	0.48	-	1, 200 1, 350	2. 37 2. 58	7. 24 7. 62	2 O t 吊	0.48	\dashv
	1,500	2. 78	8. 29	25t所 25t吊	0.59		1,500	2. 78	8. 29	25t吊	0.59	
	1,650	2. 98	9. 34	3 O t 吊	0.62	7	1,650	2.98	9. 34	30 t 吊	0.62	
	1,800	3. 09	9.87	3 5 t 吊	0.68		1,800	3.09	9.87	35t吊	0.68	
/一ン規格の変更	2,000	3. 19	10. 40	4 5 t 吊	0.79		2,000	3. 19	10. 40	40t吊	0.79	
			幾種は、ラフテロ	付に適用する。 レーンク レーン油圧式	伸縮ジブ型とする	0		以上のク レーン		付に適用する。 レーンク レーン油圧式	油縮ジブ型とする	ó.
	20	> > 1 11 10 H 13	- (1)×1)(1)				20	/ / / / JI 1/H				
		_	1	T		箇所当たり		1				箇所当たり
	呼び径	配管工	普通作業員	機	種	賃 料	呼び径	配管工		機	種	賃 料
	呼び径 (mm)	配管工	普通作業員 (人)	機			呼び径 (mm)	配管工	普通作業員 (人)	機縦型		
					種	賃 料					種	賃 料
	(mm)	(人)	(人)	縦型	種	賃 料 (日)	(mm)	(人)	(人)	縦型	種	賃 料 (日)
	(mm) 400	(人)	(人)	縦型 - - トラッククレーン	種	賃料 (日) 0.28	(mm) 400	(人)	(人)	縦型 - - トラッククレーン	種	賃料 (日) 0.28
	(mm) 400 500	(人) 0.41 0.82	(人) 1. 13 2. 04	縦型 - トラッククレーン - 油圧伸縮ジブ型	種	賃料 (日) 0.28 0.30	(mm) 400 500	(人) 0.41 0.82	(人) 1. 13 2. 04	縦型 - - トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型	種	賃料 (日) 0.28 0.30
	(mm) 400 500 600	(人) 0.41 0.82 1.13	(人) 1. 13 2. 04 2. 95	縦型 - - トラッククレーン	種	賃料 (日) 0.28 0.30 0.32	(mm) 400 500 600	(人) 0.41 0.82 1.13	(人) 1. 13 2. 04 2. 95	縦型 - - トラッククレーン	種	賃料 (日) 0.28 0.30 0.32
	(mm) 400 500 600 700	(人) 0.41 0.82 1.13 1.44	(人) 1. 13 2. 04 2. 95 3. 44	縦型 - トラッククレーン - 油圧伸縮ジブ型	種	賃料 (日) 0.28 0.30 0.32 0.33	(mm) 400 500 600 700	(人) 0.41 0.82 1.13 1.44	(人) 1.13 2.04 2.95 3.44	縦型 - - トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型	種	(日) 0.28 0.30 0.32 0.33
	(mm) 400 500 600 700 800	(人) 0.41 0.82 1.13 1.44 1.65	(人) 1. 13 2. 04 2. 95 3. 44 3. 94	縦型 - トラッククレーン - 油圧伸縮ジブ型	種 横型 -	賃料 (日) 0.28 0.30 0.32 0.33 0.34	(mm) 400 500 600 700 800	(人) 0.41 0.82 1.13 1.44 1.65	(人) 1. 13 2. 04 2. 95 3. 44 3. 94	縦型 - - トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型	種 横型 -	(日) 0.28 0.30 0.32 0.33 0.34
	(mm) 400 500 600 700 800 900	(人) 0.41 0.82 1.13 1.44 1.65 1.85	(人) 1. 13 2. 04 2. 95 3. 44 3. 94 4. 44	縦型 - トラッククレーン - 油圧伸縮ジブ型	種	賃料 (日) 0.28 0.30 0.32 0.32 0.33 0.34 0.35	(mm) 400 500 600 700 800 900	(人) 0.41 0.82 1.13 1.44 1.65 1.85	(人) 1. 13 2. 04 2. 95 3. 44 3. 94 4. 44	縦型 - - トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型	種	賃料 (日) 0.28 0.30 0.32 0.32 0.33 0.34 0.35
	(mm) 400 500 600 700 800 900 1,000 1,100	(人) 0. 41 0. 82 1. 13 1. 44 1. 65 1. 85 2. 06 2. 16	(人) 1. 13 2. 04 2. 95 3. 44 3. 94 4. 44 4. 94 5. 46	縦型 - トラッククレーン - 油圧伸縮ジブ型	種 横型 -	賃料 (日) 0.28 0.30 0.32 0.33 0.34 0.35 0.36 0.39	(mm) 400 500 600 700 800 900 1,000 1,100	(人) 0.41 0.82 1.13 1.44 1.65 1.85 2.06 2.16	(人) 1. 13 2. 04 2. 95 3. 44 3. 94 4. 44 4. 94 5. 46	縦型 - - トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型	種 横型 -	(日) 0. 28 0. 30 0. 32 0. 33 0. 34 0. 35 0. 36 0. 39
	(mm) 400 500 600 700 800 900 1,000 1,100 1,200	(人) 0.41 0.82 1.13 1.44 1.65 1.85 2.06 2.16 2.37	(人) 1. 13 2. 04 2. 95 3. 44 3. 94 4. 44 4. 94 5. 46 6. 08	縦型 - トラッククレーン - 油圧伸縮ジブ型 - 4.9t吊	種 横型 -	賃料 (日) 0.28 0.30 0.32 0.33 0.34 0.35 0.36 0.39 0.41	(mm) 400 500 600 700 800 900 1,000 1,100 1,200	(人) 0.41 0.82 1.13 1.44 1.65 1.85 2.06 2.16 2.37	(人) 1. 13 2. 04 2. 95 3. 44 3. 94 4. 44 4. 94 5. 46 6. 08	縦型 - トラッククレーン - 油圧伸縮ジブ型 - 4.9 t 吊	種 横型 -	(日) 0.28 0.30 0.32 0.33 0.34 0.35 0.36 0.39 0.41
	(mm) 400 500 600 700 800 900 1,000 1,100 1,200 1,350	(人) 0. 41 0. 82 1. 13 1. 44 1. 65 1. 85 2. 06 2. 16 2. 37 2. 58	(人) 1. 13 2. 04 2. 95 3. 44 3. 94 4. 44 4. 94 5. 46 6. 08 6. 59	縦型 - トラッククレーン - 油圧伸縮ジブ型	種 横型 -	賃料 (日) 0.28 0.30 0.32 0.32 0.33 0.34 0.35 0.36 0.39 0.41	(mm) 400 500 600 700 800 900 1,000 1,100 1,200 1,350	(人) 0. 41 0. 82 1. 13 1. 44 1. 65 1. 85 2. 06 2. 16 2. 37 2. 58	(人) 1. 13 2. 04 2. 95 3. 44 3. 94 4. 44 4. 94 5. 46 6. 08 6. 59	縦型 - - トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型	種 横型 -	(日) 0.28 0.30 0.32 0.33 0.34 0.35 0.36 0.39 0.41 0.43
	(mm) 400 500 600 700 800 900 1,000 1,100 1,200 1,350 1,500	(人) 0. 41 0. 82 1. 13 1. 44 1. 65 1. 85 2. 06 2. 16 2. 37 2. 58 2. 78	(人) 1. 13 2. 04 2. 95 3. 44 3. 94 4. 44 4. 94 5. 46 6. 08 6. 59 7. 52	縦型 - トラッククレーン - 油圧伸縮ジブ型 - 4.9t吊	種 横型 - 4.9t吊	賃料 (日) 0.28 0.30 0.32 0.33 0.34 0.35 0.36 0.39 0.41 0.43	(mm) 400 500 600 700 800 900 1,000 1,100 1,200 1,350 1,500	(人) 0. 41 0. 82 1. 13 1. 44 1. 65 1. 85 2. 06 2. 16 2. 37 2. 58 2. 78	(人) 1. 13 2. 04 2. 95 3. 44 3. 94 4. 44 4. 94 5. 46 6. 08 6. 59 7. 52	縦型 - トラッククレーン - 油圧伸縮ジブ型 - 4.9 t 吊	種 横型 - 4.9t吊	(日) 0. 28 0. 30 0. 32 0. 33 0. 34 0. 35 0. 36 0. 39 0. 41 0. 43 0. 45
	(mm) 400 500 600 700 800 900 1,000 1,100 1,200 1,350 1,500 1,650	(人) 0. 41 0. 82 1. 13 1. 44 1. 65 1. 85 2. 06 2. 16 2. 37 2. 58 2. 78 2. 99	(人) 1. 13 2. 04 2. 95 3. 44 3. 94 4. 44 4. 94 5. 46 6. 08 6. 59 7. 52 7. 98	縦型 - トラッククレーン - 油圧伸縮ジブ型 - 4.9t吊	種 横型 - 4.9t吊	賃料 (日) 0.28 0.30 0.32 0.33 0.34 0.35 0.36 0.39 0.41 0.43 0.45 0.48	(mm) 400 500 600 700 800 900 1,000 1,100 1,200 1,350 1,500 1,650	(人) 0. 41 0. 82 1. 13 1. 44 1. 65 1. 85 2. 06 2. 16 2. 37 2. 58 2. 78 2. 99	(人) 1. 13 2. 04 2. 95 3. 44 3. 94 4. 44 4. 94 5. 46 6. 08 6. 59 7. 52 7. 98	縦型 - トラッククレーン - 油圧伸縮ジブ型 - 4.9 t 吊	種 横型 - 4.9t吊	(日) 0. 28 0. 30 0. 32 0. 33 0. 34 0. 35 0. 36 0. 39 0. 41 0. 43 0. 45 0. 48
	(mm) 400 500 600 700 800 900 1,000 1,100 1,200 1,350 1,500 1,650 1,800	(人) 0. 41 0. 82 1. 13 1. 44 1. 65 1. 85 2. 06 2. 16 2. 37 2. 58 2. 78 2. 99 3. 09	(人) 1. 13 2. 04 2. 95 3. 44 3. 94 4. 44 4. 94 5. 46 6. 08 6. 59 7. 52 7. 98 8. 14	縦型 - トラッククレーン - 油圧伸縮ジブ型 - 4.9t吊	種 横型 - 4.9t吊 16t吊	賃料 (日) 0.28 0.30 0.32 0.33 0.34 0.35 0.36 0.39 0.41 0.43 0.45 0.45	(mm) 400 500 600 700 800 900 1,000 1,100 1,200 1,350 1,500 1,650 1,800	(人) 0. 41 0. 82 1. 13 1. 44 1. 65 1. 85 2. 06 2. 16 2. 37 2. 58 2. 78 2. 99 3. 09	(A) 1. 13 2. 04 2. 95 3. 44 3. 94 4. 44 4. 94 5. 46 6. 08 6. 59 7. 52 7. 98 8. 14	縦型 - トラッククレーン - 油圧伸縮ジブ型 - 4.9 t 吊	種 横型 - 4.9t吊 16t吊	(日) 0.28 0.30 0.32 0.33 0.34 0.35 0.36 0.39 0.41 0.43 0.45 0.48
	(mm) 400 500 600 700 800 900 1,000 1,100 1,200 1,350 1,500 1,650 1,800 2,000	(人) 0. 41 0. 82 1. 13 1. 44 1. 65 1. 85 2. 06 2. 16 2. 37 2. 58 2. 78 2. 99 3. 09 3. 19	(人) 1. 13 2. 04 2. 95 3. 44 3. 94 4. 44 4. 94 5. 46 6. 08 6. 59 7. 52 7. 98 8. 14 8. 45	縦型 - トラッククレーン - 油圧伸縮ジブ型 - 4.9 t 吊 - 16 t 吊	種 横型 - 4.9t吊	賃料 (日) 0.28 0.30 0.32 0.33 0.34 0.35 0.36 0.39 0.41 0.43 0.45 0.45 0.48	(mm) 400 500 600 700 800 900 1,000 1,100 1,200 1,350 1,500 1,650 1,800 2,000	(人) 0. 41 0. 82 1. 13 1. 44 1. 65 1. 85 2. 06 2. 16 2. 37 2. 58 2. 78 2. 99 3. 09 3. 19	(人) 1. 13 2. 04 2. 95 3. 44 3. 94 4. 44 4. 94 5. 46 6. 08 6. 59 7. 52 7. 98 8. 14 8. 45	縦型 - トラッククレーン - 油圧伸縮ジブ型 - 4.9 t 吊 - 16 t 吊 - 20 t 吊	種 横型 - 4.9t吊	(日) 0. 28 0. 30 0. 32 0. 33 0. 34 0. 35 0. 36 0. 39 0. 41 0. 43 0. 45 0. 48 0. 50 0. 55
	(mm) 400 500 600 700 800 900 1,000 1,100 1,200 1,350 1,500 1,650 1,800	(人) 0. 41 0. 82 1. 13 1. 44 1. 65 1. 85 2. 06 2. 16 2. 37 2. 58 2. 78 2. 99 3. 09	(人) 1. 13 2. 04 2. 95 3. 44 3. 94 4. 44 4. 94 5. 46 6. 08 6. 59 7. 52 7. 98 8. 14	縦型 - トラッククレーン - 油圧伸縮ジブ型 - 4.9 t 吊 - 16 t 吊	種 横型 - 4.9t吊 16t吊	賃料 (日) 0.28 0.30 0.32 0.33 0.34 0.35 0.36 0.39 0.41 0.43 0.45 0.45	(mm) 400 500 600 700 800 900 1,000 1,100 1,200 1,350 1,500 1,650 1,800	(人) 0. 41 0. 82 1. 13 1. 44 1. 65 1. 85 2. 06 2. 16 2. 37 2. 58 2. 78 2. 99 3. 09	(A) 1. 13 2. 04 2. 95 3. 44 3. 94 4. 44 4. 94 5. 46 6. 08 6. 59 7. 52 7. 98 8. 14	縦型 - トラッククレーン - 油圧伸縮ジブ型 - 4.9 t 吊 - 16 t 吊	種 横型 - 4.9t吊 16t吊	(日) 0. 28 0. 30 0. 32 0. 33 0. 34 0. 35 0. 36 0. 39 0. 41 0. 43 0. 45 0. 48

水道事業実務必携改 正に伴う変更 1-9 管路土工 1-9-2 バックホウ掘削積込工 DD121702031 1-9 管路土工 1-9-2 バックホウ掘削積込工 DD121702031 1 0 0 m³ 当たり 名 称 員数 単位 摘 要 世 話 役 人 表9-2 普 通 作 業 員 人 〃		現行(平成 28		改正(平成29年7月)		備考
T	100	1-9 管路土工 1-9-2 バックホウ掘削積込工 DD121702031 100m³当たり 名 称 員数 単位 世 話 役 人 表9-普 通 作 業 員 人 " バックホウ運転工 H又は日 1-5表9-諸 雑 費 1.0 式 計 1 m³当たり 計/1 表9-7 機械運転表 機械名 規格 バックホウ (第2次基準値) 山積0.80m³ (平積0.60m 油圧式クローラ型・排出ガスター 山積0.45m³ (平積0.35m 油圧式クローラ型・排出ガスター カーラ型・排出ガスター カーラー カーカー カーカー カーカー カーカー カーカー カーカー カー	表 9 - 3 、 7 m³/日当 9 施工量) 指 定 事 項 運転労務数量 0.16 然料消費量 16.0 幾械損料数量 1.00 運転労務数量 9.2 幾械損料数量 1.00 運転労務数量 0.16	到積込工 DD121702031 員数 単位 摘	1-9-2 バックホウ掘 100m³当たり 名 称 世 話 後 普 通 作 業 長 バックホウ運転ご 諸 雑 書 計 1m³当たり 表 9-7 機械運転表 機械名 バックホウ リ	水道事業実務必携改
	策型 運転労務数量 0.16 燃料消費量 7.2 機械損料数量 1.00 策型 運転労務数量 1.00 燃料消費量 29.0 (日) 1.8 策型 運転労務数量 1.00 燃料消費量 21.0 (日) 機械損料数量 1.8 1.8 1.9 1.9 1.9 1.9 1.9 1.9 1.9 1.9	 油圧式クローラ型・排出ガスを後方超小旋回型山積0.28m³(平積0.20r) 油圧式クローラ型・排出ガスを(第2次基準値)後方超小が山積0.13m³(平積0.10r) 油圧式クローラ型・排出ガスを超小旋回型山積0.08m³(平積0.06r) 1-9-4-2 タンパ運転工(埋戻用・60~80 kg級) DD1210 名称 員数 単位特殊作業員 1.00人ガソリン4.50 L レギュタンパ及びランマ1.38 供用日60~8 諸 雑 費 1.0 式 	 運転労務数量 0.16 然料消費量 6.3 機械損料数量 1.00 運転労務数量 25 機械損料数量 1.8 運転労務数量 1.00 然料消費量 18 (日) 機械損料数量 1.8 	曲圧式クローラ型・排出ガス対策型 後方超小旋回型 山積0.28m³(平積0.20m³) 由圧式クローラ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 後方超小旋回型 山積0.13m³(平積0.10m³) 由圧式クローラ型・排出ガス対策型 超小旋回型 山積0.08m³(平積0.06m³) 理戻用・60~80kg級) DD121001061 量数 単位 据 1.00 人 5.00 L レギュラー 1.38 供用日 60~80kg	小型バックホウ 1 1-9-4-2 タンパ運転工 名 称 特殊作業 リ ガ ソ リ こ タンパ及びランで 諸 雑 輩	

備考		改正	(平成29年7月)			現	行(平成28年7月)	平成29年7
水道事業実務必携改 正に伴う変更	1-9-5 発生土処理工 表 9-2 0 機械運転表	DD113001211		DD113001221	9 — 5 発生土処理 	DD113001211	建設廃材処理	I. DD113001221	
	機械名	規格	運転日当たり 運転時間(H)	指 定 事 項	機械名	規 格	運転日当たり 運転時間 (H)	指定事	· 項
歩掛の変更		4 t 車		運転労務数量 1.00 燃料消費量 34 機械損料数量 1.22		4 t 車	(11)	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1. 00 41 1. 22
	ダンプトラック	2 t 車		運転労務数量 1.00 燃料消費量 22 機械損料数量 1.22	ダンプトラック	2 t 車			1.00
		10t車		運転労務数量 1.00 燃料消費量 65 機械損料数量 1.22		10t車			1. 00
	備考 運転日当り運転	転時間は、建設機械排	員料表による。		 備考 運転日当り運	転時間は、建設機構		似则积积数里	1. 22

備考			改正(平	成 29 年 7 月)								現行(五	平成 28 年 7 月)		
	1-9-4 埋戻工(/ 100m³当たり	ベックホウ・オ	×道のみ)	DD121702071				-9-4	4 埋戻工 当たり	(バック	ホウ・水	道のみ)	DD121702071		
	名称	員数	単位	摘	要			名	1	称	員数	単位	摘	要	
	普 通 作 業	員	人	表9-10、	11,12			普通	通 作	業員		人	表9-10、	11,12	
	世話	役	人	表9-10				世	話	役		人	表9-10		
単位の訂正	バックホウ運転	; I	H又は目	1-9-3-3 表 $9-9$ (100	• •			バッ:	クホウ質	重転 工		H又は日	1-9-3- 表 $9-9$ (10)	2 表9-8 <u>0/日</u> 当り施工量	
	タンパ運転	エ 3.0	日	1 - 9 - 4 - 3	2 表9-1	3		タン	パ運	転 工	3. 0	日	1-9-4-	2 表9-1	3
	埋戻し	材	m ³					埋	戻し	材		m³			
	諸雑	費 1.0	式					諸	雑	費	1. 0	式			
	計								計						
	1 m³当たり			計/100					1 m³当たり	り			計/100		
:	表 9 - 1 3 機械運転表						表	€9-13	3 機械運	転表					
	機械名		規格		指	定事項		機	級 械 名			規格	3	指	定事項
掛の変更	バックホウ	(第2次	ューラ型・排l (基準値) 0 m ³ (平積)		運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	■ 0.16 16.0 ■ 1.0		バ	バックホウ		(第2次		出ガス対策型 0.60m³)	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	0. 16 18. 0 1. 0
	"	油圧式クロ	ューラ型・排b 5 m ³ (平積)	出ガス対策型	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量				JJ	泪	由圧式クロ		出ガス対策型	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	0.16
	IJ.		ューラ型・排品 後方超小旋回 8m³(平積(]型	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	 ₹ 0. 16 6. 3 ₹ 1. 0 			<i>II</i>		1	ーラ型・排 後方超小旋回 8 m ³ (平積	出ガス対策型 ^{団型} 0.20m³)	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	0. 16 7. 2 1. 0
	小型バックホウ	(第2次基	ューラ型・排品 基準値) 後え 3 m³(平積)	方超小旋回型	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	25)	小型	!バックホウ	ウ	(第2次基		出ガス対策型 方超小旋回型 0. 10 m³)	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	29 (目)
	IJ.		ューラ型・排品 超小旋回型 8 m ³ (平積)	出ガス対策型 ! 0.06m³)	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	主 1.00 18 1.8)		"			超小旋回型	出ガス対策型 ^[2] 0.06m³)	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00 21 1.8
	タンパ		6 0∼8 0kg	g	運転労務数量 燃料消費量 機械賃料数量 主燃料 運転時間 作業量	ます。 1.00 5.0 1.38 (日 カンリン 5時間/日 33m³/日			タンパ			60~80k	g	運転労務数量 燃料消費量 機械賃料数量 主燃料 運転時間 作業量	1.00 4.5 1.38(日) がソリン 5時間/日 33m ³ /日

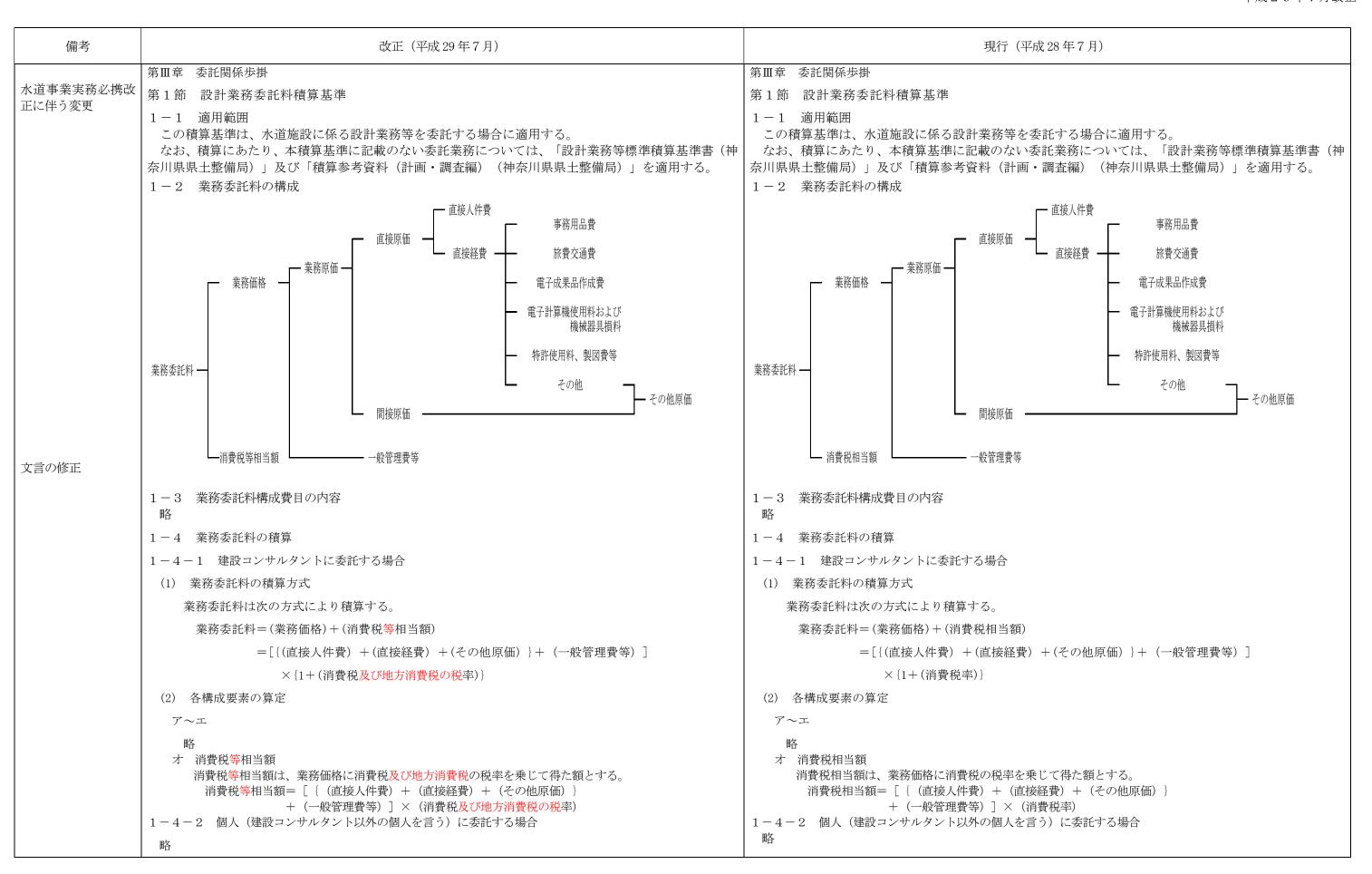
備考		改正(平成	29年7月)			現行(平成28年7月)	
K道事業実務必携改 Eに伴う変更	1-11 連絡工					1-11 連絡工	
工作计划文	1-11-1 不断水式割T:	字管取出工(鋳鉄製)	DD121401011			1-11-1 不断水式割T字管取出工(鋳鉄製) DD121401011 略	
	略 表 1 1 – 1 不断水式割T字: 	管取出工		1 î	箇所当たり	表11-1 不断水式割丁字管取出工 1箇所当	首たり
	本管口径 75~300 略	 	工	+%+		本管口径 75~300 略	
· III 。 *** ==	本管口径 × 取出口径 (mm) × (mm)	特殊作業員 配管 (人) (人)		機械損料(日)	雑材料	本管口径 × 取出口径 特殊作業員 配管工 普通作業員 機械損料 雑 (mm) × (mm) (人) (人) (人) (日) (日)	材料
を掛の変更	350 × 50	0.58 0.96	1.85	0.14		350 × 50 0.53 0.87 1.74 0.14	
	350×75	0. 63 0. 97	2. 19	0. 21		$\begin{bmatrix} 350 \times 75 & 0.58 & 0.88 & 2.08 & 0.21 \end{bmatrix}$	
	350 × 100	0.64 0.99	2. 23	0. 22	_	$350 \times 100 0.59 0.90 2.12 0.22$	
	350 × 150	0.66 1.00	2. 28	0.25	_	$350 \times 150 $ 0. 61 0. 91 2. 17 0. 25	
	350 × 200	0. 68 1. 02		0. 27	_	350 × 200 0.63 0.93 2.23 0.27	
	400 × 50	0.65 1.06		0.14	_	400 × 50 0.53 0.87 1.74 0.14	
	400 × 75	0.70 1.07	2. 31	0.21	_	400 × 75 0.58 0.88 2.08 0.21	
	400 × 100	0.71 1.09	2. 35	0. 22	_	$400 \times 100 0.59 0.90 2.12 0.22$	
	400 × 150	0.73		0. 25	_	$400 \times 150 0.61 0.91 2.17 0.25$	
	400 × 200	0.75 1.12		0.27	_	400 × 200 0.63 0.93 2.23 0.27	
	450 × 75	0.60 0.8		0.21	労務費		務費
	450 × 100	0.62 0.9		0. 22	Ø5%	0.02	5 %
	450 × 150	0.66 1.0		0. 25	_	$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	
	450 × 200	0.71 1.1		0. 27	_	$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	
	500 × 75	0.60 0.9		0. 21	_	500×75 0. 60 0. 92 2. 11 0. 21	
	500 × 100	0.62 0.9		0. 22	-	500 × 100 0.62 0.94 2.25 0.22	
	500 × 150	0.66 1.0		0. 25	_	500 × 150 0.66 1.01 2.32 0.25	
	500 × 200	0. 71 1. 1		0. 27	-	$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	
	600 × 75	0.60 0.9		0. 21	-	600 × 75 0.60 0.92 2.11 0.21	
	600 × 100	0.62 0.9		0. 22	-	600 × 100 0.62 0.94 2.25 0.22	
	600 × 150	0.66 1.0		0. 25	-	600 × 150 0.66 1.01 2.32 0.25	
	600×200	0.71 1.1	2 2.41	0. 27		$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	

備考		改正(平成 29 年 7 月)							平成 28 年 7 月)		平成29年	7月以1
- C and		3/II. (//// 20 1 //)						2011	1 7 20 1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7			
水道事業実務必携改 正に伴う変更	第2節 付帯工 2-1 舗装撤去工 2-1-1 舗装版直接掘削積込コ	E (ASのみ) DD121702061				付帯工 舗装撤去工 1 舗装版直接	掘削積込工	(ASのみ)	DD121702061			
	1 0 0 m ² 当たり		_		1 0 0 m ²	² 当たり						
	名 称 員数		要			名 称	員数	単位	摘	要		
	世話役	人 表1-1			世	話	役	人	表 1-1			
	普 通 作 業 員	人 表1-1			普	通 作 業	員	人	表1-1			
単位の訂正	バックホウ運転工	H又は日 $1-9-3-2$ 、表 $1-2-2$ (1	、表1-2、3 100 ㎡/日当たり施工量)		バッ	クホウ運転	エ	H又は日	1-9-3-2、表 $1-2-2$ (10	表1-2、3 00/日当たり施工量/)	
	諸 雑 費 1.) 式			諸	雑	費 1.0	式				
	計					計						
	1 ㎡当たり	計/100				1 ㎡当たり			計/100			
注釈の追加	注1本表は、バックホウによる馬注2バックホウ運転日当たり運転表1-2-2日当たり施工量					- A は、ハックカ - 2 日当たり		19CMY LO	アスファルト舗装	成似似件何以作 来		
				当たり							1日当たり	Ì
	掘削機種	施 舗装厚 0cm 超え 10cm 以下	Ľ量 (㎡) 舗装厚 10cm 超え 1	5cm 以下		掘削機	種	舗装厚 0cm	<u>施工</u> 超え 10cm 以下	量 (m²) 舗装厚 10cm	n 超え 15cm 以下	1
施工量の見直し	山積0.08m³ (平積0.06m³)	1 4 4	115		山積C). 08m³ (平積(). 06 m ³)		4 0		1 1 2	l
	山積0.13m³ (平積0.10m³)	165	1 3 4		山積0). 13m³ (平積(). 10 m ³)	1	6 0	-	1 3 0	l
	山積0.28m³ (平積0.20m³)	194	160		山積0). 28m³ (平積(). 20 m ³)	1	8 8	-	1 5 6	1
	山積0.45m³ (平積0.35m³)	2 3 6	199		山積0). 45m³ (平積(). 35 m ³)	2	2 8	-	193	j
	表 1 - 3 機械運転表				表1-3	機械運転表						
	機械名	規 格	指定事項			機械名		規 格		指 定	事 項	
歩掛の変更	│	ローラ型・排出ガス対策型 超小旋回型 08m ³ (平積0.06m ³)	運転労務数量 1.0 燃料消費量 1.8 機械損料数量 1.8	(日)	小型	型バックホウ		ローラ型・排 超小旋回型 8 m ³ (平積)	[運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00 21.0(日) 1.8	
	小型バックホウ (第2次)	ローラ型・排出ガス対策型 基準値) 後方超小旋回型 13m³(平積0. 10m³)	運転労務数量 1.0 燃料消費量 25 機械損料数量 1.8	(目)	小型	型バックホウ	油圧式クロ(第2次基	ーラ型・排	出ガス対策型	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00 29.0(日) 1.8	
	油圧式ク バックホウ	ローラ型・排出ガス対策型 後方超小旋回型 28m³(平積0.20m³)	運転労務数量 0. 燃料消費量 6. 機械損料数量 1. (6	,	バックホウ	油圧式クロ	ューラ型・排 後方超小旋回 8 m ³ (平積)	出ガス対策型 型	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	0. 16 7. 2 1. 00	
	バックまウ 油圧式ク	ローラ型・排出ガス対策型 45m³ (平積0.35m³)	運転労務数量 0. 燃料消費量 9. 燃機械損料数量 1. 低	6	,	バックホウ	油圧式クロ		出ガス対策型	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	0. 16 11. 0 1. 00	
										To A 1 1 / / Ambud		

備考	改正(平成29年7月)				平成29年7月改正
	2-1-2 舗装版破砕工 (コンクリート圧砕機400KN) DD114103021	2-1- 100m ² 当たり	2 舗装版破砕工 (コンクリート圧砕機を	400KN) DD114103021	0m ² 当たり
	名 称 員 数 単位 摘	要	名 称 員数	単 位 摘	要
	世 話 役 100/q×1 人 表1-5	世	話 役 100/q×1	人 表1-5	
	普 通 作 業 員 100/Q+100/q 人 表1-4、5	普	通 作 業 員 100/Q+100/g	人 表1-4、5	
	舗装版圧砕機運転工 100/Q 日 2-1-3 表1-4、6	舗装	版圧砕機運転工 100/Q	日 2-1-3 表1-4、6	
	バックホウ運転工 (水道土木・供用) 100/q 日 2-1-4 表1-5、6		クホウ運転工 道土木・供用) 100/q	_日 2-1-4 表1-5、6	
	諸 雑 費 1.0 式	諸	雑 費 1.0	式	
	計		計		
	1 m ² 当たり 計/100		1 m ² 当たり	計/100	
	注1~5	注1~5			
	略	略			
	表 1 - 5 日当たり施工量 q (舗装版掘削積込) 略 2 - 1 - 3 舗装版圧砕機運転工 DD121001131 略 2 - 1 - 4 バックホウ運転工 (水道土木・供用) DD121001091 略 表 1 - 6 機械運転表	略 2-1- 略 2-1- 略	5 日当たり施工量 q (舗装版掘庫3 舗装版圧砕機運転工 DD12104 バックホウ運転工(水道土木機械運転表	001131	
	作業内容 機械名 規格	指定事項作	業内容 機 械 名	規格指力	定事項
	直接掘削•積込 畑圧スグロー/至 田槓0.2011 燃料消費	秀数量 1.00 計数量 1.62	バックホウ 油圧式クローラ型 排出ガス対策型 後方超小旋回型	山積0. 28m³ (平積0. 20m³) 運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	49
		秀数量 1.00 計数量① 1.45 計数量② 1.62	①コンクリート圧砕機 ②バックホウ 油圧式クローラ型 排出ガス対策型 後方超小旋回型	①400kN ※注1 ② 山 積 0 . 2 8 m 3 (平積0. 20m³) 運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量(機械損料数量)	42 ① 1.45
	破砕後積込 畑圧式グロープ型 山槓U. 28m 燃料消費	務数量 1.00 計数量 1.62 破碎	バックホウ 油圧式クローラ型 排出ガス対策型 後方超小旋回型	山積0. 28m³ (平積0. 20m³) 運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	45
注釈の訂正	注1. 損料はコンクリート圧砕装置 (建物用) 破砕力550~980kNを使用	注1. 損	料は549kΝを使用		

備考		改正(平成 29 年 7	7月)			現征	庁(平成 28 年 7 月)		平成29年7月改
水道事業実務必携改 正に伴う変更	2-2 舗装復旧工 2-2-4 路盤工 (5 表 2-4 機械運転表	施工幅 1.8m 以上・振動ローラ・タンパ) €	DD121704032		2-2 舗装復旧工 2-2-4 路盤工 表2-4 機械運転	施工幅 1.8m 以上・振動¤ 表	ーラ・タンパ) DD121	704032	
	機械名	規格		指 定 事 項	機械名	規	格	指定事	事 項
	振動ローラ	排出ガス対策型 搭乗式 コンバインド型 3~4 t	運転労 燃料消 機械賃	務数量 1.00 費量 <mark>13</mark> 料数量 1.52	振動ローラ	排出ガス対領 コンバイン	受型 搭乗式 で型 3~4 t	運転労務数量 燃料消費量 機械賃料数量	1. 00 15 1. 52
	タンパ	6 0∼80kg	運転労 燃料消 機械賃	務数量 1.00 費量 4.0 料数量 1.61	タンパ	60~	-80kg	運転労務数量 燃料消費量 機械賃料数量	1. 00 4. 5 1. 61
	2-2-5 不陸整正 表 2-7 機械運転表		D121704031		2-2-5 不陸整 表2-7 機械運転表	E工(施工幅1.8m未満・	タンパ) DD12170	4031	
	機械名	規格		指 定 事 項	機械名	規	格	指定	事 項
	振動ローラ	排出ガス対策型 搭乗式 コンバインド型 3~4 t	運転労 燃料消 機械賃	務数量 1.00 費量 <mark>13</mark> 料数量 1.52	振動ローラ	排出ガス対策 コンバイン	競型 搭乗式 ド型 3∼4 t	運転労務数量 燃料消費量 機械賃料数量	1. 00 15 1. 52
	タンパ	6 0∼80kg	運転労 燃料消 機械賃	務数量 1.00 費量 4.0 料数量 1.61	タンパ	6 0 ~	-80kg	運転労務数量 燃料消費量 機械賃料数量	1. 0 0 4. 5 1. 6 1
	2-2-10 アスフ 表2-16 機械運		1		2-2-10 アス 表2-16 機械道	アアルト舗装工(人力) 転表	DD113902031		
	機械名	規格指	定事項	適用単価表	機械名	規格	指定事:	項	適用単価表
	振動ローラ		費量 <mark>3</mark> 料数量 1.23	機-23 (土木工事標準積算基準書)	振動ローラ	ハンドガイド式 0.5~0.6t	燃料消費量 2 機械損料数量 1.	. 23 (土木コ	機-23 工事標準積算基準書)
	振動コンパクタ	1.40~60kg	費量 5 料数量 1.40	機-23 (土木工事標準積算基準書)	振動コンパクタ	40~60kg	燃料消費量 3 機械損料数量 1.	. 40 (土木コ	機-23 工事標準積算基準書)

備考		改正(⁵	平成 29 年 7 月)		現行(平成28年7月)
水道事業実務必携改 正に伴う変更 交通誘導警備員の掲 載箇所の変更	第3節 仮設 (第I章 第 3-2 交) 3-2- 交通誘 3-2- 現場条		<mark>こ適用する。</mark> 、人員、作業時間帯、期間を計	上する。	
	区分	現場条件	計 算 交通誘導警備員 A	章 式 交通誘導警備員B	
	1	昼間勤務(8:00~17:00) 実働 8時間(交替要員無し)	a×必要日数×N	a×必要日数×N	
	2	昼間勤務(8:00~17:00) 実働 9時間(交替要員有り)	1.2a×必要日数×N	1. 2a×必要日数×N	
	3	夜間勤務 (20:00~5:00) 実働 8 時間 (交替要員無し)	1.5a×必要日数×N	1.5a×必要日数×N	
	4	夜間勤務(20:00~5:00) 実働 9 時間(交替要員有り) 24 時間勤務	1.8a×必要日数×N	1.8a×必要日数×N	
	5	実働 22 時間(交替要員無し) 24 時間勤務	3. 0a×必要日数×N 3. 4a×必要日数×N	3. 0a×必要日数×N 3. 5a×必要日数×N	
	注2. 日 注3. 区 注4. 交	実働 24 時間(交替要員有り) : 交通誘導警備員単価 N:配置人曜、祝祭日等の休日割増は適用しない分5、6は2交替制勤務とする。 替要員有りは、休憩、休息時間につい業時間帯等が異なる場合は、別途積算	、 、 、ても交通誘導を行う場合に	適用する。	



文言の修正	備考			改正(平	平成 29 年 7 月)					現行(ᠫ	平成 28 年 7 月)		
業務多託の変更は、管積薄書を基にして次式により類出する。 業務 価格 = 変更積算業務価格 × 直面の適負額 直面の積算額 (落札率を乗じた額) 変更業務委託 料 = 業務 価格 × (1+消費税及び地方消費税の優幸) 変更業務委託 料 = 業務 価格 × (1+消費税及び地方消費税の優幸) (落札率を乗じた額) 変更業務委託 料 = 業務 価格 × (1+消費税及び地方消費税の優幸) (落札率を乗じた額) 変更業務委託 料 = 業務 価格 × (1+消費税及び地方消費税の優幸) (落札率を乗じた額) 変更業務委託 料 = 業務 価格 × (1+消 (落札率を乗じた額) 変更業務委託 料 = 業務 価格 × (1+消 (落札率を乗じた額) 変更業務委託 本乗した額) (落札率を乗じた額) 変更業務委託 本事 中 一 (2 上 直前の消負額、直前の積算額は、消費税相当額を含んだ額とする。 2 上 直前の消負額、直前の積算額は、消費税相当額を含んだ額とする。 2 上 直前の消負額、直前の積算額は、消費税相当額を含んだ額と 2 ー 1 用剤工法 2 ー 1 用剤工法 2 ー 1 用剤工法 2 ー 1 基本歩掛 小口径(管径350mm以下) (1) 新設詳細設計表 ー 1 基本歩掛 小口径(管径350mm以下) (2 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・		- 5 設計変更の積	算					1-5 設計変更の利	漬算				
(落札率を乗じた額) 変 更 業 務 委 託 料 = 業 務 価 格 × (1+消費税及び地方消費機の税率) 変 更 業 務 委 託 料 = 業 務 価 格 × (1+消費税及び地方消費機の税率) (落札率を乗じた額) (注) 1. 変更積算業務価格は、単位、経費をもとに当初設計と同一方法により積算する。 2. 直前の請負額、直前の積算額は、消費税等相当額を含んだ額とする。 第 2 節 設計業務歩掛 2 - 1 開削工法 2 - 1 - 1 基本歩掛 小口径(管径350mm以下) (1) 新設詳細設計表 - 1		業務委託の変更は、	官積算書を基	にして次式によ	じり算出する。			業務委託の変更は、	官積算書を基	にして次式によ	り算出する。		
(落札率を乗じた額) 変 更 業 務 委 託 料 = 業 務 価 格 × (1+消費税及び地方消費税の税率) (落札率を乗じた額) 変 更 業 務 委 託 料 = 業 務 価 格 × (1+消費税及び地方消費税の税率) (落札率を乗じた額) (落札率を乗じた額) 変 更 業 務 委 託 料 = 業 務 価 格 × (1+消費税及び地方消費税の税率) (落札率を乗じた額) 変 更 業 務 委 託 料 = 業 務 価 格 × (1+消費税及び地方消費税の税率) (落札率を乗じた額) 変 更 業 務 委 託 料 = 業 務 価 格 × (1+消費税及び地方消費税の税率) (注)1. 変更積算業務価格は、単位、経費をもとに当初設計と同一方法により預算額は、消費税用当額を含んだ額とする。 ② 直前の請負額、直前の積算額は、消費税用当額を含んだ額とする。 第 2 節 設計業務歩掛 2 - 1 関削上法 2 - 1 - 1 基本歩掛 小口径(管径350mm以下) (1) 新設詳細設計表 - 1		業務個	f 格 = :	変更積算業剤	务 価 格 ×	直前の請負額	-	業務	価格 =	変更積算業務	务価格 ×	直前の請負額 直前の積算額	_
変 更 業 務 委 託 料 = 業 務 価 格 × (1+消費税及び地方消費税の税率) (落札率を乗じた額) 変 更 業 務 委 託 料 = 業 務 価 格 × (1+消 (落札率を乗じた額) (落札率を乗じた額) (落札率を乗じた額) (落札率を乗じた額) (落札率を乗じた額) (落札率を乗じた額) (注)1. 変更積算業務価格は、単位、経費をもとに当初設計と同一方法により積算する。 2. 直前の請負額、直前の積算額は、消費税率担当額を含んだ額とする。 2. 直前の請負額、直前の積算額は、消費税相当額を含んだ額と 第 2 節 設計業務歩掛 2 ー 1 期削工法 2 ー 1 ー 1 基本歩掛 小口径(管径350mm以下) (1) 新設詳細設計表 - 1	.चः -	(落札率を乗じ	^じ た額)			旦 則炒惧昇領		(落札率を乗り	じた額)			旦削り惧昇領	
(注) 1. 変更積算業務価格は、単位、経費をもとに当初設計と同一方法により積算する。 2. 直前の請負額、直前の積算額は、消費税等相当額を含んだ額とする。 第2節 設計業務歩掛 2—1 開削工法 2—1—1 基本歩掛 小口径(管径350mm以下) (1) 新設詳細設計表 — 1	115	変更業務委	話料 =	業 務 価	i 格 × (1+消費税及び地	2方消費税の税率)	変更業務	委 託 料 =	業 務 価	格 × (1+消費税率)	
2. 直前の請負額、直前の積算額は、消費税等相当額を含んだ額とする。 2. 直前の請負額、直前の積算額は、消費税相当額を含んだ額とする。 第 2 節 設計業務歩掛 2-1 開削工法 2-1-1 基本歩排 小口径(管径350mm以下) 2-1 開削工法 (1) 新設詳細設計表-1 2-1 基本歩排 小口径(管径350mm以下) (1) 新設詳細設計表-1 (1) 新設詳細設計表-1 職 種 主任技師 技師 (A) 技師 (B) 技師 (C) 技術員 設計 協議 (表-2設計協議基本歩排 により別途積算計上) 職 種 主任技師 技師 (A) 技師 (B) 技師 (基本歩排 により別途積算計上) 現 地 調 査 0.6 1.6 2.7 2.7 2.6 設計 計 画 (注2、注9から必要により表-3の歩掛りを計上) 2. 直前の請負額、直前の積算額は、消費税相当額を含んだ額と 第 2 節 設計業務歩掛 2-1 開削工法 2-1-1 基本歩排 小口径(管径350mm以下) (1) 新設詳細設計表-1 (主 業内容 主任技師 技師 (A) 技師 (B) 技師 (基本歩排 により別途積算額 現 地 調 査 0.6 1.6 2.7 記			(*	落札率を乗じた	_額)				((落札率を乗じた	:額)		
2. 直前の請負額、直前の積算額は、消費税等相当額を含んだ額とする。 2. 直前の請負額、直前の積算額は、消費税相当額を含んだ額と 第 2 節 設計業務歩掛 2-1 開削工法 2-1-1 基本歩掛 小口径(管径350mm以下) 2-1 開削工法 (1) 新設詳細設計表-1 2-1 基本歩掛 小口径(管径350mm以下) (1) 新設詳細設計表-1 (1) 新設詳細設計表-1 職 權 (作業内容 設計協議基本歩掛 により別途積算計上) 財 協議 (表-2設計協議基本歩掛 により別途積算計上) 現 地 調 查 0.6 1.6 2.7 2.7 2.6 設計計画 (注2、注9から必要により表-3の歩掛りを計上) 会 極 計 算 (注2、注9から必要により表-3の歩掛りを計上) 各 種 計 算 (注3. n (注2、注9から必要により表-3の歩掛りを計上) 各 種 計 算 (注3. n													
第 2 節 設計業務歩掛 2 - 1 開削工法 2 - 1 - 1 基本歩掛 小口径 (管径350mm以下) (1) 新設詳細設計表 - 1		(注) 1. 変更積算	「業務価格は、	単位、経費をも)とに当初設計と	:同一方法により	積算する。	(注) 1. 変更積貨	算業務価格は、	単位、経費をも	とに当初設計と	:同一方法により	積算する。
2-1 開削工法 2-1-1 基本歩掛 小口径 (管径350mm以下) (1) 新設詳細設計表-1 職種 (作業内容) 設計協議 (表-2設計協議基本歩掛 により別途積算計上) 現地調査 0.6 1.6 2.7 2.7 設計計画 (注2、注9から必要により表-3の歩掛りを計上) 各種計算 (注3. リ 2-1 開削工法 2-1-1 基本歩掛 小口径 (管径350mm以下) (1) 新設詳細設計表-1 (1) 新設詳細設計表-1 (2-1 開削工法 2-1-1 基本歩掛 小口径 (管径350mm以下) (1) 新設計 (計画 (注) (2-1 開削工法 2-1-1 基本歩掛 小口径 (管径350mm以下) (1) 新設計 (計画 (注) (2-1 開削工法 2-1 表示歩掛 (計画 (注) (2-1 表示 (注) (2-1 表示 (注) (2-1 表示 (注) (2-1 表示 (注) <td></td> <td>2. 直前の請</td> <td>う 負額、直前の</td> <td>積算額は、消費</td> <td>が税<mark>等</mark>相当額を含</td> <td>んだ額とする。</td> <td></td> <td>2. 直前の記</td> <td>請負額、直前の</td> <td>積算額は、消費</td> <td>税相当額を含ん</td> <td>だ額とする。</td> <td></td>		2. 直前の請	う 負額、直前の	積算額は、消費	が税 <mark>等</mark> 相当額を含	んだ額とする。		2. 直前の記	請負額、直前の	積算額は、消費	税相当額を含ん	だ額とする。	
2-1 開削工法 2-1-1 基本歩掛 小口径 (管径350mm以下) (1) 新設詳細設計表-1 1 k m 当り標準歩掛 職 種	第	2節 設計業務歩	掛					第2節 設計業務別	歩掛				
2-1-1 基本歩掛 小口径 (管径350mm以下) (1) 新設詳細設計表-1 職種 主任技師 技師 (A) 技師 (B) 技師 (C) 技術員 計 協議 (表-2設計協議基本歩掛 により別途積算計上) 現地調査 0.6 1.6 2.7 2.7 2.6 設計計画 (注2、注9から必要により表-3の歩掛りを計上) 各種計算 (注3. ") 2-1-1 基本歩掛 小口径 (管径350mm以下) (1) 新設詳細設計表-1 (1) 新設詳細設計表-1 (注2、注9から必要により別途積算計量) (表-2設計協議基本歩掛 により別途積算計量) (表-2設計協議基本歩掛 により別途積算計量) (表-2設計協議基本歩掛 により別途積算計量) (表-2設計協議基本歩掛 により別途積算計量) (注2、注9から必要により表-3の歩掛りを計量) (注2、注9から必要により表-3の歩掛りを計量) (注2、注9から必要により表-3の歩掛りを計量) (注2、注9から必要により表-3の歩掛りを計量) (注2、注9から必要により表-3の歩掛りを計量) (注3、 ")									•				
(1) 新設詳細設計表-1 職種 (主任技師 技師 (A) 技師 (B) 技師 (C) 技術員 設計協議 (表-2設計協議基本歩掛 により別途積算計上) 現地調査 0.6 1.6 2.7 2.7 2.6 設計計画 (注2、注9から必要により表-3の歩掛りを計上) 各種計算 (注3. ") (1) 新設詳細設計表-1 (1) 新設詳細設計表-1 (注2、註9			掛 小口径(^タ	管径350mm以下`)				掛 小口径(管径350mm以下))		
表-1 1 k m 当り標準歩掛 職 種 主任技師 技師 (A) 技師 (B) 技師 (C) 技術員 設計 協議 (表-2設計協議基本歩掛 により別途積算計上) 現 地 調 査 0.6 1.6 2.7 2.7 2.6 設計 計 画 (注2、注9から必要により表-3の歩掛りを計上) 各 種 計 算 (注3. ")								_ , ,	, , , , , , , ,				
職種 主任技師 技師 (A) 技師 (B) 技師 (C) 技術員						-1 1	1/2 /o 4亜 ※ 1 F 4+1		•			-i 1	V/ /o 4亜※ヒュト
作業内容		職種	主任技師	 技師 (A)	 技師 (B)			職種	主任技師	 技師 (A)	 技師 (B)	技師(C)	n当り標準歩 技術員
現地調査 0.6 1.6 2.7 2.7 2.6 設計計画 (注2、注9から必要により表-3の歩掛りを計上) 設計計画 (注2、注9から必要により表-3の歩掛りを計分を計量) 各種計算 (注3. "	<u> </u>	作業内容		1200 (11)			XMX	作業内容	工工大品	1249 (11)	TXHP (D)	IXHP (C)	KMK
設計計画 (注2、注9から必要により表-3の歩掛りを計上) 設計計画 (注2、注9から必要により表-3の歩掛りを計 各種計算 (注3. ") 各種計算 (注3. "		設計協議	(表-2	設計協議基本步	尽掛 により別途	金積算計上)		設計協議	(表-2	2 設計協議基本步	⇒掛 により別送	全積算計上) 	1
各種計算 (注3. ") 各種計算 (注3. "							2. 6					2. 7	2.6
				主9から必要によ	:り表-3の歩排	事りを計上)				注9から必要によ	にり表ー3の歩掛	事りを計上)	
図面作成 0.6 1.3 2.6 2.1 図面作成 0.6 1.3 2.6			(注3.)]]	1)	T
					+	+				1. 3	+	2. 6	2. 1
						+	2. 6	-				2. 8	2.6
					-	+					+	1. 2	_
	L		2. 3	5. 3	9. 5	9. 3	7. 3		2. 3	5. 3	9. 5	9. 3	7. 3
注1~注9 略	ì												
Rの追加 注10 構造計算の伴う弁室等構造物設計を行う場合は別途考慮すること。	加	* *	ド う弁室等構造	:物設計を行う場	場合は別途考慮す	つること。		HU HU					

備考			改正	(平成 29 年 7	月)						現行	(平成 28 年 7	月)		
水道事業実務必携改 正に伴う変更	2-1-2 大口径(表-4	管径400mm以」	L)			1 km当り標	町准長掛		-1-2 大口径(汽 ま-4	管径400mm以上	_)			1 k m当り標	· 淮 华 ຟ
	職種作業内容	技師長	主任技師	技師 (A)	技師(B)	技師 (C)	技術員		表 - 4 職 種 作業内容	技師長	主任技師	技師(A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
	設計協議		(表-	<u>│</u> - 2 により別	 				設計協議		(表-	<u> </u> - 2 により別:	 		
	現地調査	0.5	1. 3	2.6	4.0	4. 0	3. 3		現地調査	0. 5	1.3	2.6	4.0	4.0	3. 3
	設計計画	0.3	0.9	1. 8	2. 6	2. 6	_		設計計画	0.3	0.9	1.8	2. 6	2. 6	
	各種計算		0.9	1. 9	2. 8	2. 7	2. 2		各種計算		0. 9	1. 9	2. 8	2. 7	2. 2
	図面作成	_	1. 1	2. 2	3. 3	3. 3	2.8		図面作成	_	1. 1	2. 2	3. 3	3. 3	2. 8
注釈の追加	数量計算	_	1. 3	2. 6	3. 9	3. 9	3. 1		数量計算	_	1. 3	2. 6	3. 9	3. 9	3. 1
	審査	0. 2	0.7	1. 2	2. 0	2. 0	_		審 査	0. 2	0. 7	1.2	2. 0	2. 0	_
	計(参考)	1. 0	6. 2	12. 3	18. 6	18. 5	11. 4		計 (参考)	1. 0	6. 2	12.3	18. 6	18. 5	11. 4
注釈の追加参照する表を記載	(1) 管径による補回 略 (2) 略 (2) 略 (3) 設計条件による補回 略 (3) 設計条件による	正 E (小口径) (小口径) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	大口径) 至、大口径) 4 に対応する。 1 (2 対応する。) 1 (2 対応する。) 2 (4 に対応する。) 2 (4 に対応する。) 2 (4 に対応する。) 3 (5 対に対応する。)	指数の計の 11 (ただし、設 出)を計上する。 。 (ただし、	 色囲で表−9 −13 .00 計協議を除く る場合は、次。 	14-171.15)式により歩掛	正係数を選択する 18-22 1.30 を補正する。ただし	0	本歩掛では、仮記 なお、補正対象 補正係数=1 L:布設替記	E(小口径、ナ 補正(小口径 計条件1~4 計条件1~4 3-6 0.70 作業内容の全 る補正(小口径 計に仮設口容の 計に仮設口容の は作業内容の キα (1 上 となば作業内容の ・ 路線全延長	を に対応する。 7-16 0.85 項目とする。 1径、大口径) (埋設又は露は、350mmを は、350mmを)	り 11 (ただし、設 出)を計上す を上限とする。 (ただし、	-13 00 計協議を除く	14-17 1.15) :式により歩掛	18-22 1.30 を補正する。ただし、

備考			改正	(平成 29 年	7月)						現行	f(平成 28 ⁴	年7月)		
水道事業実務必携改 正に伴う変更	α:管径補ī 表-9-2	E係数(表一:	9-2参照)						α:管径補I 表-9-2	三係数					
400 1 2 2 2 5 5 5	管径 (mm)	700以7	下 800	0	900	1000	1100		管径 (mm)	700以下	5 80	00	900	1000	1100
参照する表番号の記載	α	0.50	0.4	19	0.49	0.48	0. 47		α	0.50	0.	49	0. 49	0.48	0. 47
770	管径 (mm)	1200	135	50	1500	1600以上			管径 (mm)	1200	13	50	1500	1600以上	
	α	0. 45	0.4	12	0.41	0. 41			α	0. 45	0.	42	0.41	0. 41	
	2-2 推進工治 2-2-1 標準 略 2-2-2 基本的 2-2-2-1 列	業務内容 歩掛			1.0.6) + .\\	IE水を N	2 - # 2 - 2 -	- 2 - 2 基本 歩 - 2 - 2 - 1 刃口	養務内容 ★掛			1.0		正水をり
	表-10 職 種		主任		技師)m未満:1箇		表-	-10 職種		主任	技師	技 師	0 m未満:1 箇 技 師	
	作業内容	技師長	技師	(A)	(B)	(C)	技術員	作	業内容	技師長	技師	(A)	(B)	(C)	技術員
	設計協議		(表-	- 2により別	途積算計上)				設計協議		(表-	-2により月	川途積算計上)		
	現地調査	1.0	1.3	1.6	3. 4	3. 1	1.9		現 地 調 査	1.0	1.3	1.6	3. 4	3. 1	1.9
	公 図 調 査		(表	きー13によ	り別途積算計	+上)			公 図 調 査		(-	表-13によ	こり別途積算	十上)	
	設計計画	0.6	0.9	1.6	2. 5	2. 5			設計計画	0.6	0.9	1.6	2. 5	2.5	
	各種計算	_	0.9	1. 6	1. 9	1. 9	1. 2		各種計算	_	0.9	1.6	1. 9	1.9	1. 2
	図面作成	_	1.1	2. 0	3. 0	2. 9	2.3		図面作成	_	1. 1	2.0	3. 0	2. 9	2. 3
	数量計算	_	0.7	1. 9	2. 6	2. 2	1.9		数量計算	_	0.7	1. 9	2. 6	2. 2	1.9
	審查	0.8	1.5	_	_	_	_		審查	0.8	1. 5	_	_	_	_
	配管設計		(表-18	3 及び表-1	9により別送	全積算計上)			配管設計	<u> </u>	(表-1	8 及び表-1	9により別え	金積算計上)	
	報告書作成		(表	きー14によ	り別途積算計	+上)			報告書作成		(-	表-14によ	こり別途積算言	十上)	
注釈の追加	注1〜注6 略 注7 構造計算の伴う	弁室等構造物	が設計を行う場	合は別途考	慮すること。			注1	~注6 各						

備考			改正	三 (平成 29 年	7月)					現	行(平成 28 :	年7月)			
ば事業実務必携改 に伴う変更	2-2-2-2 小F 表-11	1径推進(φ	250mm以上700	Omm以下)		500m:1 篖	市当を 1	2-2-2-2 小口表-11	口径推進 (φ	250mm以上70	Omm以下)		500m	: 1 箇所当	i た n
上に円ノ友父	職種	技師長	主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技術員	職種作業内容	技師長	主任技師	技師	技能	師 技	師	技術員
	設計協議			<u> (A)</u> −2により別:	` '	(C)		設計協議			(A) - 2 により5	(B) 訓涂積質計	,	J)	
	現地調査	1. 6	2.2	2.6	5.7	5. 2	3. 2	現地調査	1. 6	2.2	2.6	5. 7		. 2	3. 2
	公図調査			<u> 。</u> 表-13によ			3.2	公図調査			 (表-13に。				372
	設計計画	1. 0	1.5	2.6	4.1	4.1		設計計画	1. 0	1.5	2.6	4. 1		. 1	_
	各種計算		1.5	2.6	3. 1	3. 1	2.0	各種計算		1.5	2.6	3. 1		. 1	2. 0
	図面作成		1.8	3. 3	4.8	4.8	3.8	図面作成		1.8	3. 3	4. 8		. 8	3.8
	数量計算			3. 2	4. 2	3. 7	3.1	数量計算			3. 2	4. 2		. 7	3. 1
	数 里 訂 异 審 査	1. 4	1.1	3. 2	4. 2	3. 1	3.1	数 里 訂 异 審 查	1. 4	2.4	3. 2	4. 2			3. I —
	配管設計	1. 4	-	<u> </u> 8及び表-1				配管設計	1.4		8及び表一:				
	報告書作成			表-14によ				報告書作成		**	(表-14に。				
	<u> </u>							注1~注6					<i>>,</i> —,		<u> </u>
- 釈の追加	注1~注6 略 注7 構造計算の伴う	弁室等構造物	物設計を行う	場合は別途考慮	慮すること。			略							
に釈の追加	略				慮すること。	500m: 1	箇所当たり	2-2-2-3 中大	て口径推進(φ800mm以上)		5	00m: 1 箇戸	行当たり
注釈の追加	略 注7 構造計算の伴う 2-2-2-3 中力	て口径推進 (主任	(φ800mm以上)		技師	支 師 技	箇所当たり 師 技術員 C)		主任	φ 800mm以上 技師長	主任		技	00m: 1 箇戸	;
主釈の追加	略 注7 構造計算の伴う 2-2-2-3 中分 表-12 職種	て口径推進((φ800mm以上)	主 任 芸 技 師	技師	技 師 技 (B) (師はお見	2-2-2-3 中大表-12 職種		·	主 任 技 師		技 師 (B)	技師	
E釈の追加	略 注7 構造計算の伴う 2-2-2-3 中ナ 表-12 職 種 作業内容	て口径推進 (主任	(φ800mm以上)	主 任 芸 技 師	技 師 打 (A) こり別途積算	技 師 技 (B) (計上)	師はお見	2-2-2-3 中大表-12 職種作業内容	主任	·	主 任 技 師	(A)	技 師 (B)	技師	
三釈の追加	略 注7 構造計算の伴う 2-2-2-3 中力表-12 職 種 作業内容 設計協議	主任技術者	(φ800mm以上) 技師長	主任 技師 (表-2によ 2.0	技 師 指 (A) なり別途積算	技師 技(B) (計上) 4.6 4	師 C) 技術員	2-2-2-3 中大表-12 職種 作業内容 設計協議	主任 技術者	技師長	主 任 技 師 (表-2に	(A) より別途和 2.5	技 師 (B) 責算計上) 4.6	技 ff (C)	技術員
三釈の追加	略 注7 構造計算の伴う 2-2-2-3 中分表-12 職種 作業内容 設計協議 現地調査	主任技術者	(φ800mm以上) 技師長	主 任 技 師 (表-2によ 2.0 (表-13に	技 師 技 (A) は り別途積算 2.5 より別途積算	技 師 技(B) (計上) 4.6 4 計上)	師 C) 技術員	2-2-2-3 中大表-12 職 種 作業内容 設計協議 現地調査	主任 技術者	技師長	主 任 技 師 (表-2に 2.0	(A) より別途和 2.5	技 師 (B) 責算計上) 4.6	技 ff (C)	技術員
巨釈の追加	略 注7 構造計算の伴う 2-2-2-3 中分表-12 職種 作業内容 設計協議 現地調査 公図調査	主任 技術者 1.0	(φ800mm以上) 技師長 1.5	主任 技師 (表-2によ 2.0 (表-13に 2.1	技 師 才 (A) こり別途積算 2.5 より別途積算 3.6	技師 技(B) (計上) 4.6 4 計上) 5.1 4	師	2-2-2-3 中大表-12 職 種 作業内容 設計協議 現地調査 公図調査	主任 技術者	技師長	主 任 技 師 (表-2に 2.0 (表-13)	(A) より別途和 2.5 こより別途	技 師 (B) 責算計上) 4.6 積算計上)	技 新 (C) 4.5	技術員 3.6
主釈の追加	略 注7 構造計算の伴う 2-2-2-3 中分表-12 職種 作業内容 設計協議 現地調査 公図調査 設計計画	主任 技術者 1.0	(φ800mm以上) 技師長 1.5	主任技師 (表-2によ 2.0 (表-13に 2.1 1.6	技 師 (A) こり別途積算 2.5 より別途積算 3.6 2.7	技師 技(B) (A) (B) (B) (B) (A) (B) (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B	所 C) 技術員 3.6 .6 —	2-2-2-3 中大表-12 職種作業内容設計協議現地調査公図調査設計計画	主任 技術者 1.0 1.0	技師長 1.5 1.0	主 任 技 師 (表-2に 2.0 (表-13に 2.1	(A) より別途和 2.5 こより別途 3.6	技 師 (B) 責算計上) 4.6 積算計上) 5.1	技 新 (C) 4.5	技術員 3.6
三釈の追加	略 注7 構造計算の伴う 2-2-2-3 中分表-12 職種 作業内容 設計協議 現地調査 公図調査 設計計画 各種計算	主任 技術者 1.0 1.0	技師長 1.5 1.0 —	主任技師 (表-2によ 2.0 (表-13に 2.1 1.6	技 師 (A) り別途積算 2.5 より別途積算 3.6 2.7	技師 技(B) (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B	所 (C) 技術員 3.6 5.6 — 3.2 3.2	2-2-2-3 中大表-12 職種作業内容設計協議現地調査公図調査設計計画各種計算	主任 技術者 1.0 1.0	技師長 1.5 1.0 —	主 任 技 師 (表-2に 2.0 (表-13に 2.1 1.6	(A) より別途和 2.5 こより別途 3.6 2.7	技 師 (B) 責算計上) 4.6 積算計上) 5.1 4.2	技 新 (C) 4.5 4.6 4.2	技術員 3.6 — 3.2
主釈の追加	略 注7 構造計算の伴う 2-2-2-3 中分表-12 職 種 作業内容 設 計 調 査 設 記 計 調 重 公 設 計 算 図 面 作 成	主任 技術者 1.0 1.0 —	技師長 1.5 1.0 — —	主任技師 (表-2によ 2.0 (表-13に 2.1 1.6	技 師 (A) り別途積算 2.5 より別途積算 3.6 2.7	技師 技(B) (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B	所 C) 技術員 3.6 3.6 3.6 3.6 4.4 4.4	2-2-2-3 中大表-12 大大方容 職種 大大方容 設計協議 現地調査 公計画 公計前 計算 図面作成	主任 技術者 1.0 1.0 ———————————————————————————————	技師長 1.5 1.0 — —	主任 技師 (表-2に 2.0 (表-13に 2.1 1.6 1.8	(A) より別途和 2.5 こより別途 3.6 2.7 3.9	技 師 (B) 責算計上) 4.6 積算計上) 5.1 4.2 5.4	技 新 (C) 4.5 4.6 4.2 5.4	技術員 3.6 — 3.2 4.4
主釈の追加	略 注7 構造計算の伴う 2-2-2-3 中分表 -12 作業内容 髄 種 代業 計 調 査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	主任 技術者 1.0 1.0 ———————————————————————————————	技師長 1.5 1.0 — — — 2.0	主任技師 (表-2によ 2.0 (表-13に 2.1 1.6 1.8 1.6	技 師 (A) 5 り別途積算 2.5 より別途積算 3.6 2.7 3.9 2.6	技師(B) 技(B) (HL) 4.6 4.6 4 計上) 5.1 4.2 4 4.2 4 4.2 3 - -	所 C) 技術員 3.6 5.6 — 3.2 3.2 5.4 4.4 5.7 3.2	2-2-2-3 中大表 表-12 職種 作業內容 議題 現地調査 公計計算 公計計算 図量 本 工作 本 工作	主任 技術者 1.0 1.0 — — — — —	技師長 1.5 1.0	主任技師 (表-2に 2.0 (表-13) 2.1 1.6 1.8 1.6 2.4	(A) より別途和 2.5 こより別途 3.6 2.7 3.9 2.6	技 師 (B) 責算計上) 4.6 積算計上) 5.1 4.2 5.4 4.2	技 新 (C) 4.5 4.6 4.2 5.4 3.7	技術員 3.6 — 3.2 4.4 3.2
主釈の追加	略 注7 構造計算の伴う 2-2-2-3 中分表-12 職 種 作業 内容 設 計 調 査 以 図 計 算 図 計 算 図 重 作 成 数 量 計 算	主任 技術者 1.0 1.0 ———————————————————————————————	技師長 1.5 1.0 — — — 2.0	主任技師 (表-2によ 2.0 (表-13に 2.1 1.6 1.8 1.6 2.4 18及び表-	技 師 (A)	技師(B) 技(B) (B) (C) (B) (C) 計上) 4.6 5.1 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 金積算計上)	所 C) 技術員 3.6 5.6 — 3.2 3.2 5.4 4.4 5.7 3.2	2-2-2-3 中大表-12 (作業內容 設計 施 現地調查 設計 前 公計計算 図量計算	主任 技術者 1.0 1.0 — — — — —	技師長 1.5 1.0	主任技師 (表-2に 2.0 (表-13) 2.1 1.6 1.8	(A) 2.5 2より別途 3.6 2.7 3.9 2.6 — — 19によ	技 師 (B) (B) (B) (B) (B) 4.6 (T) (B) (B) (B) (B) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C	技 新 (C) 4.5 4.6 4.2 5.4 3.7	技術員 3.6 — 3.2 4.4 3.2
生釈の追加	略 注7 構造計算の伴う 2-2-2-3 中分表 -12 作業内容 髄 種 で容 筋 調 査 ・ 説 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	主任 技術者 1.0 1.0 ———————————————————————————————	技師長 1.5 1.0 — — — 2.0	主任技師 (表-2によ 2.0 (表-13に 2.1 1.6 1.8 1.6	技 師 (A)	技師(B) 技(B) (B) (C) (B) (C) 計上) 4.6 5.1 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 金積算計上)	所 C) 技術員 3.6 5.6 — 3.2 3.2 5.4 4.4 5.7 3.2	2-2-3 中大表-12	主任 技術者 1.0 1.0 — — — — —	技師長 1.5 1.0	主任技師 (表-2に 2.0 (表-13に 2.1 1.6 1.8 1.6 2.4	(A) 2.5 2より別途 3.6 2.7 3.9 2.6 — — 19によ	技 師 (B) (B) (B) (B) (B) 4.6 (T) (B) (B) (B) (B) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C	技 新 (C) 4.5 4.6 4.2 5.4 3.7	技術員 3.6 — 3.2 4.4 3.2

備考			ţ.	女正(平成 2	9年7月)					Ę	見行(平成 2	8年7月)		
水道事業実務必携改 正に伴う変更	2-3 既設管内配 2-3-1 標準 略 2-3-2 既設管	業務内	容					2-3 既設管内配 2-3-1 標準 略 2-3-2 既設管	業務内	容			44.000	
	表-17	I	- <i>I</i>	T-T- 4-T-	14 AT		f当たり □	表-17	I	- H	TT 4T	TT 4T		行当たり ────────────────────────────────────
	職 種作業内容	技師長	主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技術員	作業内容 職 種	技師長	主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技術員
	設計協議		(3	長-2により	別途積算計	上)		設計協議		(才	長-2により	別途積算計	上)	
	現地調査	0.5	0.8	1.4	2.8	2.4	2.4	現地調査	0.5	0.8	1.4	2.8	2.4	2. 4
	公 図 調 査		(表	-13によ	り別途積算	計上)		公図調査		(表	-13によ	り別途積算計	上)	
	設計計画	0.4	0.5	1.5	3. 0	1.8	_	設計計画	0.4	0.5	1.5	3.0	1.8	
	各種計算	_	0.5	1.2	1.9	2.8	1.1	各種計算		0. 5	1.2	1.9	2.8	1. 1
	図面作成	_	0.8	1.4	2.6	3.7	3.8	図面作成	_	0.8	1.4	2.6	3. 7	3. 8
	数量計算	_	0.7	1.6	2. 4	2.4	2.9	数量計算	_	0. 7	1.6	2. 4	2.4	2. 9
	審查	0. 7	1.5	_	_		_	審查	0. 7	1.5	_	_		
	配管設計		(表-18	及び表-1	9により別途	金積算計上)		配管設計		(表-18	及び表-1	9により別途	積算計上)	
	報告書作成		(表	<u></u> 14によ	り別途積算	計上)		報告書作成		(表	₹-14Kよ	り別途積算計	上)	
生釈の追加	注1~注5 略 注6 構造計算の伴う	5 弁室等構造	世物設計を行	う場合は別途	金考慮するこ	こと。		注1~注5 略 2 - 6 配 水 池	1					
	2-6 配 水 池 2-6-1 適 用 略 2-6-2 基本歩掛 略 2-6-3 補正 2-6-3-1設計対 (1) 基本設計 略	基 準	る補正					2-6-1 適用 略 2-6-2 基本歩掛 略 2-6-3 補正 2-6-3-1設計対 (1)基本設計 略	基 準	る補正				

備考					改正	三 (平成	29年7月)										現	行(平成	(28年7月)					
水道事業実務必携改 正に伴う変更		だし、影	計協議	及び現場	也調査を		正は第4表、第6 ついて、第 13 ā							だし、影	计協議	及び現均	也調査を		正は第4表、第 こついて、第 13 章					
				正 係					補	正存	系 数					正係					補	正係	※数	
					鋼製						鋼製						鋼製						鋼製	
	配 水 池 有効容量 (m³)	RC 造	PC 造	第8、9表 第8、9表	補正率B 配水池・調整池土木設	配水池・調整池土木設計を除く 9表	配 水 池 有効容量 (m³)	RC 造	PC造	第8、9表	補正率B 配水池:調整池土木設	配水池•調整池土木設	配 水 池 有効容量 (m³)	RC 造	PC 造	基準補正率A	補正率B 配水池・調整池土木設	調整池	配 水 池 有効容量 (m³)	RC 造	PC 造	第8、9表第8、9表	補正率B 配水池•調整池土木設	調表整池
					計	計を除					計	計を除					計	土木設計を除					計	土木設計を除
	50 以下	0. 29	0.54	0.62	1.057	0.903	6,001~7,000	2. 27	1.98	1.80	0.887	1. 100	50 以下	0. 29	0. 54	0.62	1.057	0.903	6,001~7,000	2. 27	1.98	1.80	0.887	1. 100
	51~100まで	0.38	0. 59	0.66	1.052	0. 915	7,001~8,000	2. 41	2.07	1.89	0.881	1. 107	51~100まで	0.38	0. 59	0.66	1.052	0. 915	7,001~8,000	2. 41	2.07	1.89	0.881	1. 107
	101~200	0. 51	0.64	0.70	1.047	0. 927	8,001~9,000	2. 52	2. 16	1. 94	0.874	1. 114	101~200	0.51	0.64	0.70	1. 047	0. 927	8,001~9,000	2. 52	2. 16	1. 94	0.874	1. 114
	201~300	0.60	0.69	0.74	1.042	0. 939	9,001~10,000	2.65	2. 25	2. 01	0.865	1. 120	201~300	0.60	0.69	0.74	1. 042	0. 939	9,001~10,000	2.65	2. 25	2.01	0.865	1. 120
	301~400	0.68	0.74	0.78	1.037	0. 951	10,001~12,000	2.86	2. 39	2. 12	0.857	1. 127	301~400	0.68	0.74	0.78	1. 037	0. 951	10,001~12,000	2.86	2. 39	2. 12	0.857	1. 127
	401~500	0. 75	0. 79	0.82	1.032	0. 963	12,001~14,000	3. 05	2. 52	2. 22	0.850	1. 135	401~500	0. 75	0.79	0.82	1. 032	0. 963	12,001~14,000	3. 05	2. 52	2. 22	0.850	1. 135
	501~600	0.81	0.84	0.86	1. 027	0. 975	14,001~16,000	3. 22	2.64	2. 31	0.844	1. 143	501~600	0.81	0.84	0.86	1.027	0. 975	14,001~16,000	3. 22	2.64	2. 31	0.844	1. 143
	601~700	0.86	0.89	0.90	1.020	0. 989	16,001~18,000	3. 38	2.74	2. 39	0.839	1. 147	601~700	0.86	0.89	0.90	1.020	0. 989	16,001~18,000	3. 38	2.74	2. 39	0.839	1. 147
	701~800	0.90	0. 93	0. 94	1.007	0.990	18,001~20,000	3. 56	2.85	2. 47	0.833	1. 154	701~800	0.90	0. 93	0.94	1.007	0.990	18, 001~20, 000	3. 56	2.85	2. 47	0.833	1. 154
	801~900	0. 95	0.97	0. 97	1.005	1.001	20,001~22,000	3. 70	2. 96	2. 55	0.825	1. 163	801~900	0. 95	0. 97	0.97	1.005	1.001	20,001~22,000	3. 70	2. 96	2. 55	0.825	1. 163
	901~1,000	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	22,001~24,000	3. 84	3. 04	2. 61	0.823	1. 165	901~1,000		1.00	1.00	1.00	1.00	22,001~24,000	3. 84	3. 04	2. 61	0.823	1. 165
	1,001~1,500	1. 19	1. 16	1. 13	0.974	1. 028	24, 001~26, 000	3. 96	3. 12	2. 68	0.818	1. 165	1,001~1,500		1. 16	1. 13	0.974	1. 028	24, 001~26, 000	3. 96	3. 12	2. 68	0.818	1. 165
	1,501~2,000		1. 28	1. 23	0.959		26,001~28,000	4. 09	3. 21	2. 74	0.814	1. 172	1,501~2,000		1. 28	1. 23	0. 959		26,001~28,000	4. 09	3. 21	2. 74	0.814	
	2,001~2,500		1. 37	1. 31	0.951	1. 045 1. 059	28, 001~30, 000 30, 001~35, 000	4. 22	3. 28	2. 80	0.810	1. 172	2,001~2,500		1. 37	1. 31	0. 951		28, 001~30, 000	4. 22	3. 28	2.80	0.810	
	2,501~3,000 3,001~4,000		1. 46 1. 62	1. 38	0. 943		<u> </u>	4. 48	3. 46	2. 93	0. 803	1. 181 1. 187	2,501~3,000		1. 46	1.38	0. 943	1. 059	30, 001~35, 000	4. 48	3. 46	2. 93	0.803	
	4,001~5,000		1. 76	1. 62	0. 925	1. 073	40, 001~45, 000	4. 74	3. 78	3. 17	0. 794	1. 107	3,001~4,000		1. 62	1.51	0. 925	1. 073	35, 001~40, 000	4. 74	3. 63	3.06	0. 794	1. 187
	5,001~6,000		1. 88	1. 72	0. 908	1. 007	45, 001~50, 000	5. 21	3. 92	3. 27	0. 785	1. 193	4,001~5,000	1	1. 76 1. 88	1. 62	0. 908	1. 087	40, 001~45, 000 45, 001~50, 000	4. 98 5. 21	3. 78	3. 17	0. 789	1. 193
注釈の見直し	注 1. 鋼製配水池 ①配水池・記 第9表配水 ②配水池・記	L・調整池の 関整池の く池・調恵 関整池の く池・調恵 関整池の	型の積算 土木設 き池の土 土木設 き池の土 を池の土 積算	計の積算 木設計 計以外の 木設計」	重 基本歩掛)積算 以外の基	×補正率	萃A×補正率B ≺補正率A×補〕	E率C	ı	1			②配水池•訓	の積算 周整池の く池・調 周整池の く池・調整	 =①+② 土木設 と池の土 と池の土	2 計の積算 木設計3 計以外の 木設計4	章 基本歩排 シ積算 以外の基	→ → → → → → → →	率A×補正率B ×補正率A×補		0.02	0.21	0.100	1. 198